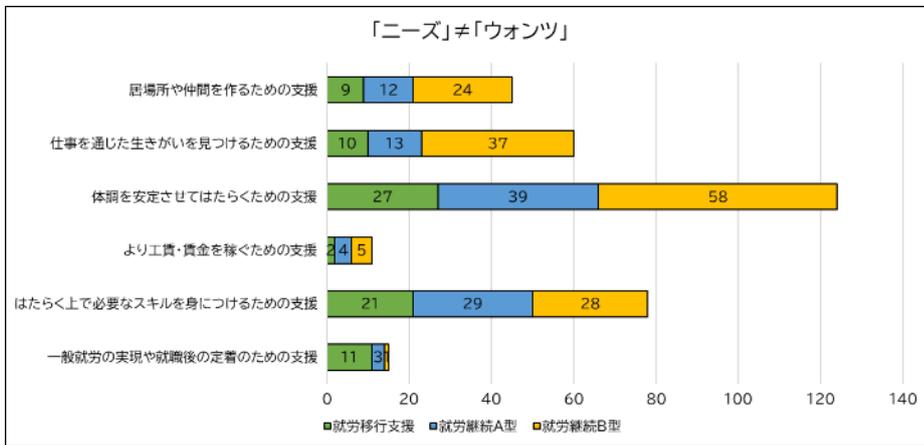


◆「ニーズ」≠「ウォンツ」の事業種別回答分布

現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえてどのような支援が最も必要と考えるか(1年以内):「ニーズ」	就労移行支援		就労継続A型		就労継続B型		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
居場所や仲間を作るための支援	9	11.3%	12	12.0%	24	15.7%	45	13.5%
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	10	12.5%	13	13.0%	37	24.2%	60	18.0%
体調を安定させてはたらくための支援	27	33.8%	39	39.0%	58	37.9%	124	37.2%
より工賃・賃金を稼ぐための支援	2	2.5%	4	4.0%	5	3.3%	11	3.3%
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	21	26.3%	29	29.0%	28	18.3%	78	23.4%
一般就労の実現や就職後の定着のための支援	11	13.8%	3	3.0%	1	0.7%	15	4.5%
総計	80	100.0%	100	100.0%	153	100.0%	333	100.0%



ギャップが生じている場合(①≠②)の、ウォンツに対応する支援への満足度

現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえてどのような支援が最も必要と考えるか(1年以内):「ニーズ」	本人が「現在」実現したいこと=「ウォンツ」	1.とても満足している	2.満足している	3.普通	4.不満がある	5.とても不満がある	6.わからない	無回答	総計
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい	3	1	1	1		1		7
	2.仕事をして生きがいを見つけたい	2	1	1			1		5
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	5	8	5	1		1		20
	4.お金(工賃・賃金)をかかせたい	4	5	5			3	1	14
	5.はたらくための技術を身につけたい	4	10	10		3		1	28
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい						4		4
	7.わからない								
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援 集計		14	25	22	5		11	1	78
より工賃・賃金を稼ぐための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい		1	1					2
	2.仕事をして生きがいを見つけたい			1					1
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい			1			1		2
	4.はたらくための技術を身につけたい		1	1	1				3
	5.はたらくための技術を身につけたい		1	1	1				3
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい		1	2	4	1	1	1	11
より工賃・賃金を稼ぐための支援 集計		1	2	4	1	1	1	1	11
一般就労の実現や就職後の定着のための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい			1					1
	2.仕事をして生きがいを見つけたい			2					2
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい		4	2					6
	4.お金(工賃・賃金)をかかせたい		3	1	1	2			7
	5.はたらくための技術を身につけたい		2	1	4	2			9
一般就労の実現や就職後の定着のための支援 集計		3	3	4	2				12
居場所や仲間を作るための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい	3	3	3			1		10
	2.仕事をして生きがいを見つけたい	3	6	8		3		1	21
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	1	1	6	2			1	11
	4.お金(工賃・賃金)をかかせたい			1					1
	5.はたらくための技術を身につけたい								
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい	2	1	1		1			5
居場所や仲間を作るための支援 集計		9	8	18	6	1	1	2	45
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい	4	2	2			1		9
	2.仕事をして生きがいを見つけたい	5	9	7	1		1	1	24
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	3	3	3		6			15
	4.お金(工賃・賃金)をかかせたい	2	2	3					7
	5.はたらくための技術を身につけたい	2	2	2			1	1	8
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい	2	2	2			1	3	10
	7.わからない								3
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援 集計		16	18	11	7	1	6	1	60
体調を安定させてはたらくための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい	6	4	5			1		16
	2.仕事をして生きがいを見つけたい	7	2	7			1	4	21
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	4	10	11		5			30
	4.お金(工賃・賃金)をかかせたい	5	4	1	1		2		13
	5.はたらくための技術を身につけたい	9	7	7	2	3	6		34
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい						10		10
	7.わからない								
体調を安定させてはたらくための支援 集計		31	27	31	8	4	19	4	124
総計		77	83	90	29	7	38	9	333

◆ 利用者は「ウォンツ」をきちんと表出したり相談できているか

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

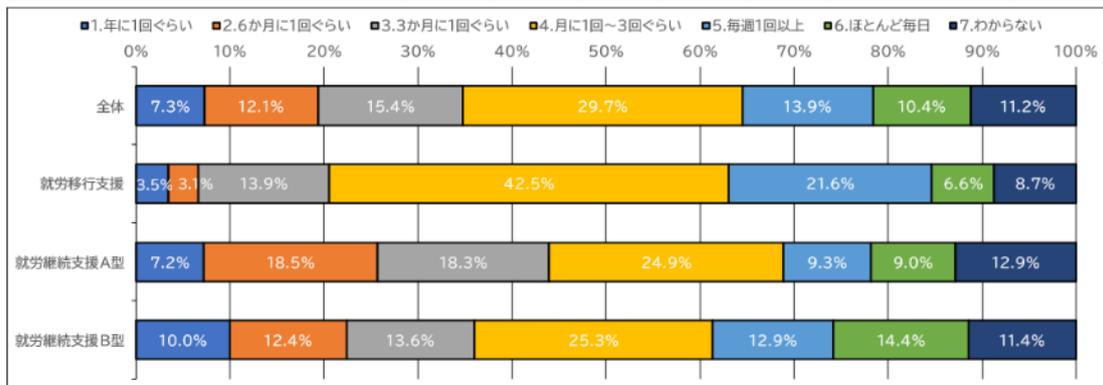
- ① #2 利用者調査Q36 …★事業所への相談の頻度、■相談に応じてくれていると感じるか
- ② #2 利用者調査Q11 …本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
- ③ ②に対応する支援についての満足度

➤ 相談の頻度による満足度のちがいを集計分析

3事業とも「月に1～3回」が最も件数が多いが、満足度の高い割合(1.+2.)は多いわけではなく、就労移行では「3か月に1回ぐらい」、就労継続支援 A 型では「毎週1回以上」、就労 B では「ほとんど毎日」が、それぞれ満足度 1.+2.の割合が最も高かった。

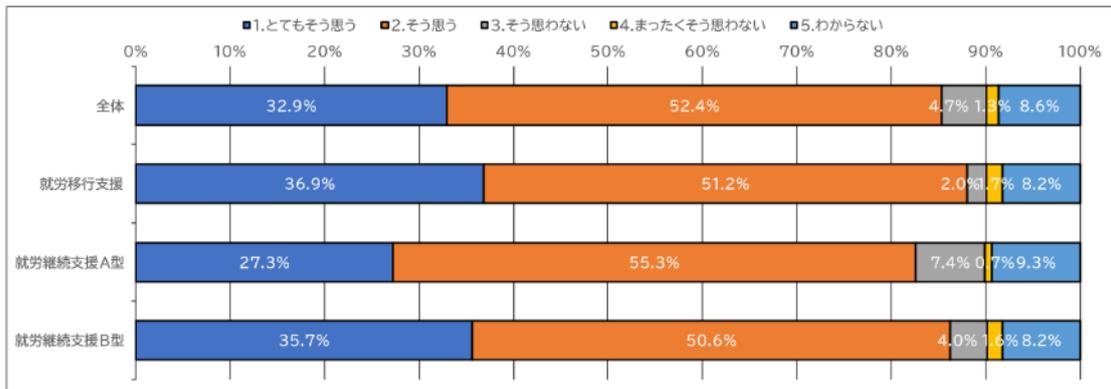
★自分がしてほしいことを事業所のスタッフさんに聞いてもらうことは、どれぐらいありますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.年に1回ぐらい	79	7.3%	10	3.5%	28	7.2%	41	10.0%
2.6か月に1回ぐらい	132	12.1%	9	3.1%	72	18.5%	51	12.4%
3.3か月に1回ぐらい	167	15.4%	40	13.9%	71	18.3%	56	13.6%
4.月に1回～3回ぐらい	323	29.7%	122	42.5%	97	24.9%	104	25.3%
5.毎週1回以上	151	13.9%	62	21.6%	36	9.3%	53	12.9%
6.ほとんど毎日	113	10.4%	19	6.6%	35	9.0%	59	14.4%
7.わからない	122	11.2%	25	8.7%	50	12.9%	47	11.4%
計	1,087	100.0%	287	100.0%	389	100.0%	411	100.0%



■スタッフさんに自分がしてほしいことなどを話したとき、自分がしてほしいことにきちんと応えてくれていると感じますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても思う	372	32.9%	108	36.9%	111	27.3%	153	35.7%
2.そう思う	592	52.4%	150	51.2%	225	55.3%	217	50.6%
3.そう思わない	53	4.7%	6	2.0%	30	7.4%	17	4.0%
4.まったくそう思わない	15	1.3%	5	1.7%	3	0.7%	7	1.6%
5.わからない	97	8.6%	24	8.2%	38	9.3%	35	8.2%
計	1,129	100.0%	293	100.0%	407	100.0%	429	100.0%



「事業所への相談の頻度」×「本人のウオツに対応する支援への満足度」

※ 構成比について 事業種別→横集計 満足度→事業内縦集計	1.年に1回くらい		2.6か月に1回くらい		3.3か月に1回くらい		4.月に1回~3回くらい		5.毎週1回以上		6.ほとんど毎日		7.わからない		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	8	3.3%	7	2.9%	35	14.5%	106	44.0%	55	22.8%	16	6.6%	14	5.8%	241	100.0%
1.とても満足している	6	75.0%	3	42.9%	14	40.0%	41	38.7%	19	34.5%	10	62.5%	1	7.1%	94	39.0%
2.満足している	2	25.0%	2	28.6%	15	42.9%	35	33.0%	21	38.2%	3	18.8%	5	35.7%	83	34.4%
3.普通		0.0%		0.0%	5	14.3%	19	17.9%	10	18.2%	2	12.5%	5	35.7%	41	17.0%
4.不満がある		0.0%		0.0%	1	2.9%	4	3.8%	2	3.6%		0.0%	1	7.1%	8	3.3%
5.とても不満がある		0.0%	1	14.3%		0.0%	1	0.9%	1	1.8%		0.0%	1	7.1%	4	1.7%
6.わからない		0.0%	1	14.3%		0.0%	6	5.7%	2	3.6%	1	6.3%	1	7.1%	11	4.6%
就労A	24	7.3%	63	19.3%	65	19.9%	85	26.0%	27	8.3%	32	9.8%	31	9.5%	327	100.0%
1.とても満足している	6	25.0%	17	27.0%	15	23.1%	25	29.4%	8	29.6%	10	31.3%	8	25.8%	89	27.2%
2.満足している	5	20.8%	19	30.2%	22	33.8%	14	16.5%	11	40.7%	8	25.0%	8	25.8%	87	26.6%
3.普通	8	33.3%	19	30.2%	15	23.1%	33	38.8%	7	25.9%	11	34.4%	8	25.8%	101	30.9%
4.不満がある	3	12.5%	5	7.9%	8	12.3%	6	7.1%	1	3.7%	1	3.1%	1	3.2%	25	7.6%
5.とても不満がある		0.0%	1	1.6%		0.0%	4	4.7%		0.0%		0.0%		0.0%	5	1.5%
6.わからない	2	8.3%	2	3.2%	5	7.7%	3	3.5%		0.0%	2	6.3%	6	19.4%	20	6.1%
就労B	31	9.6%	43	13.3%	40	12.4%	84	26.0%	46	14.2%	49	15.2%	30	9.3%	323	100.0%
1.とても満足している	14	45.2%	8	18.6%	12	30.0%	26	31.0%	21	45.7%	22	44.9%	10	33.3%	113	35.0%
2.満足している	4	12.9%	15	34.9%	11	27.5%	26	31.0%	11	23.9%	13	26.5%	6	20.0%	86	26.6%
3.普通	5	16.1%	15	34.9%	10	25.0%	18	21.4%	9	19.6%	9	18.4%	10	33.3%	76	23.5%
4.不満がある	2	6.5%	3	7.0%	5	12.5%	5	6.0%	3	6.5%		0.0%	2	6.7%	20	6.2%
5.とても不満がある	1	3.2%		0.0%	2	5.0%	4	4.8%		0.0%	2	4.1%		0.0%	9	2.8%
6.わからない	5	16.1%	2	4.7%		0.0%	5	6.0%	2	4.3%	3	6.1%	2	6.7%	19	5.9%
総計	63	7.1%	113	12.7%	140	15.7%	275	30.9%	128	14.4%	97	10.9%	75	8.4%	891	100.0%

II.利用者ウォンツの変化

◆ 事業種別、障害種別、年代別の利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在)

【クロス分析】 (#1:第1回調査 #2:第2回調査)

- ① #1 ケース票Q6 …ご本人は「利用開始当初」、貴事業所に通うことで、どんなことを「最も」実現したいと思っていましたか
- ② #1 ケース票Q7 …ご本人は「現在」、貴事業所に通うことで、どんなことを「最も」実現したいと思っていますか

➤ ①≠② (ウォンツに変化あり)のデータを抽出し、事業別、障害別、年代別で分析

就労移行支援、就労継続支援 A 型では「一般就労を実現する」への変化が最も多く、当初は「体調の安定」「就労スキルの獲得」「工賃(賃金)を稼ぐ」という希望から、それが整って「一般就労の実現」へという流れが見られる。

一方で、「賃金を稼ぐ」「一般就労の実現」という当初の希望から「体調の安定」への変化も多く、利用開始後に体調を崩したり不安定になり、希望が変化したという可能性が推察される。

就労継続支援 B 型では、当初の希望では「居場所・仲間をつくる」が突出して多いが、そこから「生きがい」や「体調の安定」への変化が多くなっている。

年代別では、30歳代までは総じて「スキル獲得」から「一般就労の実現」が特に多く、20歳未満では「体調の安定」「工賃(賃金)を稼ぐ」から「スキル獲得」という就労経験を積むことへの希望も多く見られた。40歳代以上になると、極端に「体調の安定」への変化が多くなっており、60歳以上では「工賃(賃金)を稼ぐ」からの変化が半数以上を占めている。(これは当初→現在という切り口のため、経過年数にもよると思われる)

60歳以上になると「居場所・仲間をつくる」から「生きがいを見つける」への変化も多くなっていた。

利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在)【事業種別】

当初	現在		自分の居場所や仲間を作る		仕事を通じた生きがいを見つける		体調を安定させてはたらく		工賃・賃金を稼ぐ		はたらく上で必要なスキルを身につける		一般就労を実現する		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
就労移行支援	47	2.9%	110	6.9%	246	15.3%	64	4.0%	221	13.8%	915	57.1%	1,603	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			20	18.2%	22	20.0%	7	6.4%	32	29.1%	29	26.4%	110	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	2	2.5%			13	16.5%	6	7.6%	21	26.6%	37	46.8%	79	100.0%		
体調を安定させてはたらく	9	2.3%	31	8.1%			19	4.9%	89	23.2%	236	61.5%	384	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	1	1.7%	3	5.2%	18	31.0%			5	8.6%	31	53.4%	58	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	13	1.7%	35	4.7%	97	13.0%	18	2.4%			582	78.1%	745	100.0%		
一般就労を実現する	22	9.7%	21	9.3%	96	42.3%	14	6.2%	74	32.6%			227	100.0%		
就労継続A型	286	6.0%	511	10.7%	1,094	22.8%	908	18.9%	685	14.3%	1,312	27.4%	4,796	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			118	23.2%	125	24.6%	97	19.1%	100	19.7%	68	13.4%	508	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	47	9.8%			159	33.1%	93	19.3%	101	21.0%	81	16.8%	481	100.0%		
体調を安定させてはたらく	74	6.7%	147	13.3%			335	30.2%	180	16.2%	372	33.6%	1,108	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	84	7.2%	131	11.2%	393	33.5%			164	14.0%	400	34.1%	1,172	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	51	5.7%	66	7.4%	166	18.7%	216	24.3%			391	43.9%	890	100.0%		
一般就労を実現する	30	4.7%	49	7.7%	251	39.4%	167	26.2%	140	22.0%			637	100.0%		
就労継続B型	1,904	10.7%	3,401	19.2%	4,956	27.9%	3,382	19.1%	2,209	12.4%	1,899	10.7%	17,751	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			1,528	31.7%	1,671	34.7%	854	17.7%	597	12.4%	170	3.5%	4,820	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	531	20.7%			965	37.6%	611	23.8%	334	13.0%	124	4.8%	2,565	100.0%		
体調を安定させてはたらく	532	17.0%	724	23.1%			803	25.6%	510	16.3%	566	18.1%	3,135	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	368	15.7%	433	18.5%	904	38.7%			310	13.3%	323	13.8%	2,338	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	270	10.1%	454	17.0%	603	22.6%	621	23.3%			716	26.9%	2,664	100.0%		
一般就労を実現する	203	9.1%	262	11.8%	813	36.5%	493	22.1%	458	20.5%			2,229	100.0%		
総計	2,237	9.3%	4,022	16.7%	6,296	26.1%	4,354	18.0%	3,115	12.9%	4,126	17.1%	24,150	100.0%		

利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在) 【年代別:20歳未満～50歳未満】

当初 \ 現在	自分の居場所や仲間を作る		仕事を通じた生きがいを見つける		体調を安定させてはたらく		工賃・賃金を稼ぐ		はたらく上で必要なスキルを身につける		一般就労を実現する		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
20歳未満	56	7.6%	114	15.4%	101	13.6%	104	14.1%	149	20.1%	216	29.2%	740	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			66	34.9%	32	16.9%	30	15.9%	50	26.5%	11	5.8%	189	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	14	18.4%			15	19.7%	21	27.6%	21	27.6%	5	6.6%	76	100.0%
体調を安定させてはたらく	8	10.7%	10	13.3%			17	22.7%	25	33.3%	15	20.0%	75	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	7	9.7%	8	11.1%	15	20.8%			22	30.6%	20	27.8%	72	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	18	6.9%	25	9.5%	25	9.5%	29	11.1%			165	63.0%	262	100.0%
一般就労を実現する	9	13.6%	5	7.6%	14	21.2%	7	10.6%	31	47.0%			66	100.0%
20歳以上～30歳未満	450	7.8%	854	14.8%	1,015	17.6%	1,003	17.4%	1,101	19.1%	1,328	23.1%	5,751	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			426	31.0%	320	23.3%	232	16.9%	303	22.1%	92	6.7%	1,373	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	113	17.7%			129	20.2%	158	24.8%	164	25.7%	74	11.6%	638	100.0%
体調を安定させてはたらく	79	9.4%	126	14.9%			165	19.5%	211	25.0%	263	31.2%	844	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	75	11.8%	75	11.8%	130	20.5%			156	24.6%	198	31.2%	634	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	127	8.1%	178	11.4%	237	15.1%	322	20.6%			701	44.8%	1,565	100.0%
一般就労を実現する	56	8.0%	49	7.0%	199	28.6%	126	18.1%	267	38.3%			697	100.0%
30歳以上～40歳未満	388	7.7%	776	15.4%	1,099	21.8%	885	17.6%	791	15.7%	1,094	21.7%	5,033	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			334	30.1%	306	27.6%	212	19.1%	178	16.1%	78	7.0%	1,108	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	105	19.2%			144	26.4%	123	22.5%	114	20.9%	60	11.0%	546	100.0%
体調を安定させてはたらく	103	10.2%	147	14.5%			202	19.9%	199	19.6%	363	35.8%	1,014	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	60	9.3%	97	15.0%	188	29.1%			117	18.1%	185	28.6%	647	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	78	7.7%	127	12.5%	201	19.8%	200	19.7%			408	40.2%	1,014	100.0%
一般就労を実現する	42	6.0%	71	10.1%	260	36.9%	148	21.0%	183	26.0%			704	100.0%
40歳以上～50歳未満	470	9.1%	839	16.2%	1,353	26.2%	980	19.0%	638	12.3%	888	17.2%	5,168	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			316	28.8%	400	36.4%	201	18.3%	129	11.7%	52	4.7%	1,098	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	109	17.9%			216	35.5%	144	23.7%	78	12.8%	61	10.0%	608	100.0%
体調を安定させてはたらく	142	12.1%	210	17.9%			296	25.2%	212	18.1%	313	26.7%	1,173	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	91	12.2%	126	16.9%	240	32.2%			97	13.0%	192	25.7%	746	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	67	8.6%	108	13.8%	172	22.0%	164	21.0%			270	34.6%	781	100.0%
一般就労を実現する	61	8.0%	79	10.4%	325	42.7%	175	23.0%	122	16.0%			762	100.0%

利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在) 【年代別:50歳以上～65歳以上】

当初	現在		自分の居場所や仲間を作る		仕事を通じた生きがいを見つける		体調を安定させてはたらく		工賃・賃金を稼ぐ		はたらく上で必要なスキルを身につける		一般就労を実現する		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
50歳以上～60歳未満	482	10.4%	787	17.0%	1,507	32.6%	904	19.6%	397	8.6%	539	11.7%	4,616	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			286	30.1%	393	41.4%	178	18.7%	64	6.7%	29	3.1%	950	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	115	18.0%			278	43.6%	154	24.1%	55	8.6%	36	5.6%	638	100.0%		
体調を安定させてはたらく	168	16.6%	222	22.0%			309	30.6%	121	12.0%	191	18.9%	1,011	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	114	13.7%	123	14.8%	378	45.5%			74	8.9%	141	17.0%	830	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	27	5.2%	76	14.7%	168	32.6%	103	20.0%			142	27.5%	516	100.0%		
一般就労を実現する	58	8.6%	80	11.9%	290	43.2%	160	23.8%	83	12.4%			671	100.0%		
60歳以上～65歳未満	193	12.4%	333	21.4%	617	39.6%	289	18.5%	66	4.2%	61	3.9%	1,559	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			106	30.2%	174	49.6%	57	16.2%	10	2.8%	4	1.1%	351	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	49	17.1%			151	52.8%	60	21.0%	20	7.0%	6	2.1%	286	100.0%		
体調を安定させてはたらく	56	18.1%	107	34.6%			106	34.3%	15	4.9%	25	8.1%	309	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	55	16.3%	71	21.1%	181	53.7%			14	4.2%	16	4.7%	337	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	14	12.5%	22	19.6%	41	36.6%	25	22.3%			10	8.9%	112	100.0%		
一般就労を実現する	19	11.6%	27	16.5%	70	42.7%	41	25.0%	7	4.3%			164	100.0%		
65歳以上	212	14.4%	351	23.9%	666	45.3%	205	13.9%	22	1.5%	14	1.0%	1,470	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			149	35.8%	212	51.0%	52	12.5%	2	0.5%	1	0.2%	416	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	79	22.8%			207	59.8%	53	15.3%	7	2.0%		0.0%	346	100.0%		
体調を安定させてはたらく	61	27.0%	86	38.1%			65	28.8%	6	2.7%	8	3.5%	226	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	55	17.0%	70	21.6%	191	59.0%			5	1.5%	3	0.9%	324	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	7	9.0%	23	29.5%	31	39.7%	15	19.2%			2	2.6%	78	100.0%		
一般就労を実現する	10	12.5%	23	28.8%	25	31.3%	20	25.0%	2	2.5%			80	100.0%		
無回答	3	42.9%	2	28.6%		0.0%	2	28.6%		0.0%		0.0%	7	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			2	50.0%		0.0%	2	50.0%		0.0%		0.0%	4	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	2	100.0%				0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	2	100.0%		
体調を安定させてはたらく	1	100.0%		0.0%				0.0%		0.0%		0.0%	1	100.0%		
総計	2,254	9.3%	4,056	16.7%	6,358	26.1%	4,372	18.0%	3,164	13.0%	4,140	17.0%	24,344	100.0%		

◆ ウォンツの実現に向けた事業所の対応

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

- ① #2 事業所調査Q21・・・利用者の希望と事業所の支援方針に差異がある場合
「希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直す頻度」
- ② #2 利用者調査Q11・・・本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
- ③ ②に対応する支援についての満足度

➤ 利用者のウォンツに対し、どの程度の頻度で支援の内容等の見直しを実施している事業所が満足度が高いかを見る

「支援の見直し」に関しては、3事業とも「たまにある」が6割前後で最も多いが、満足度で見ると満足度高(1.+2.)の割合は「頻繁にある」が最も高く、以下頻度に応じて割合が下がっていく。（「全くない」除く）特に、就労移行支援では「頻繁にある」場合の満足度が 1.+2.=71.6%と、より柔軟に支援が見直されることへの満足度が高かった。

「希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直す頻度」 ×
「本人のウォンツに対応する支援への満足度」

※ 構成比について ・事業種別→横集計 ・満足度→事業内縦集計	頻繁にある		たまにある		あまりない		全くない		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	88	22.6%	228	58.5%	71	18.2%	3	0.8%	390	100.0%
1.とても満足している	34	38.6%	65	28.5%	23	32.4%	1	33.3%	123	31.5%
2.満足している	29	33.0%	69	30.3%	23	32.4%	1	33.3%	122	31.3%
3.普通	15	17.0%	62	27.2%	12	16.9%		0.0%	89	22.8%
4.不満がある	2	2.3%	8	3.5%	2	2.8%		0.0%	12	3.1%
5.とても不満がある		0.0%	4	1.8%	3	4.2%		0.0%	7	1.8%
6.わからない	8	9.1%	20	8.8%	8	11.3%	1	33.3%	37	9.5%
就労A	112	17.8%	397	63.0%	120	19.0%	1	0.2%	630	100.0%
1.とても満足している	23	20.5%	92	23.2%	25	20.8%		0.0%	140	22.2%
2.満足している	42	37.5%	97	24.4%	29	24.2%	1	100.0%	169	26.8%
3.普通	26	23.2%	139	35.0%	41	34.2%		0.0%	206	32.7%
4.不満がある	11	9.8%	30	7.6%	8	6.7%		0.0%	49	7.8%
5.とても不満がある	1	0.9%	9	2.3%	2	1.7%		0.0%	12	1.9%
6.わからない	9	8.0%	30	7.6%	15	12.5%		0.0%	54	8.6%
就労B	112	16.0%	455	64.8%	127	18.1%	8	1.1%	702	100.0%
1.とても満足している	34	30.4%	114	25.1%	30	23.6%	4	50.0%	182	25.9%
2.満足している	24	21.4%	116	25.5%	34	26.8%	2	25.0%	176	25.1%
3.普通	31	27.7%	136	29.9%	35	27.6%	2	25.0%	204	29.1%
4.不満がある	10	8.9%	28	6.2%	9	7.1%		0.0%	47	6.7%
5.とても不満がある		0.0%	9	2.0%	2	1.6%		0.0%	11	1.6%
6.わからない	13	11.6%	52	11.4%	17	13.4%		0.0%	82	11.7%
総計	312	18.1%	1,080	62.7%	318	18.5%	12	0.7%	1,722	100.0%

Ⅲ.利用者本人は事業所に対しどのような支援を求めているのか

◆ 本人の希望に対して実施されている支援の具体的な内容

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

- ① #2 利用者調査Q11 …本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
- ② #2 事業所調査 …①に対応する「特に重点を置いて実施している支援」
- ③ #2 利用者調査 …①に対応する支援についての満足度
- ①でウォンツの回答があった方に対し、事業所が実施している支援内容を集計＋参考までに③より「1.とても満足している」「2.満足している」の回答＝「満足度高」の方を抽出集計
- ※「2.仕事をして生きがいを見つけない」「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」の2セグメントについては、具体的支援内容の設問を設定していないため集計していない
- ◆ 本人が期待する支援の内容と満足度
- 各セグメントごとに、本人が事業所に期待する支援と、現状の支援に対する満足度を集計分析

全般的な傾向として、セグメント全体と満足度が高い利用者の回答を比較したが、どのセグメントでも満足度の高い利用者が受けている支援に大きな差や傾向というものは見られなかった。

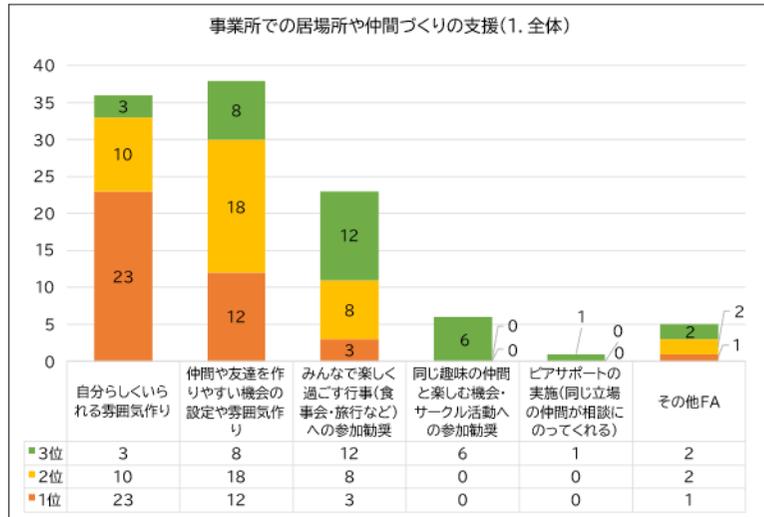
「1.自分の居場所や仲間をつくりたい」方に対しては、「自分らしくいられる雰囲気づくり」が重点支援の1位とした事業所が最も多く、利用者ウォンツの順位に対応している。行事等への利用者ウォンツも高いが、事業所として認識していてもコロナ禍によりなかなか実施が叶わない事情があるとの声があった。(ヒアリング調査より)

「3.体調をくずさないようにはたらかしたい」方に対しては、「体調管理やストレスとの付き合い方」が重点支援の1位とした事業所が最も多く、こちらも利用者ウォンツに対応した結果となっている。

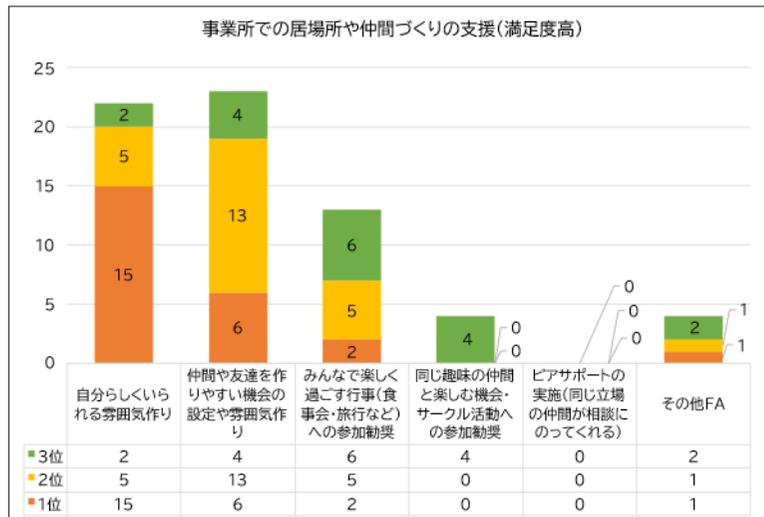
「5.はたらくための技術を身につけたい」方に対しては、「分かりやすく仕事を教える」に重点を置くところが多く、利用者ウォンツで多かった「もっと就職の役に立つ技術」や「やったことがない仕事」よりも一歩前の段階の部分を重視している傾向が見られた。

「6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい」方に対しては、「本人に合った仕事内容・はたらかし方の確認」が重点支援の1位とした事業所が最も多く、利用者ウォンツの順位に対応している。利用者ウォンツでは「就職活動を一緒に手伝ってほしい」という回答も20%前後あったが、重点支援の3位までには関連する項目は入ってこなかった。

■ 「1.自分の居場所や仲間をつくりたい」方に対する支援内容

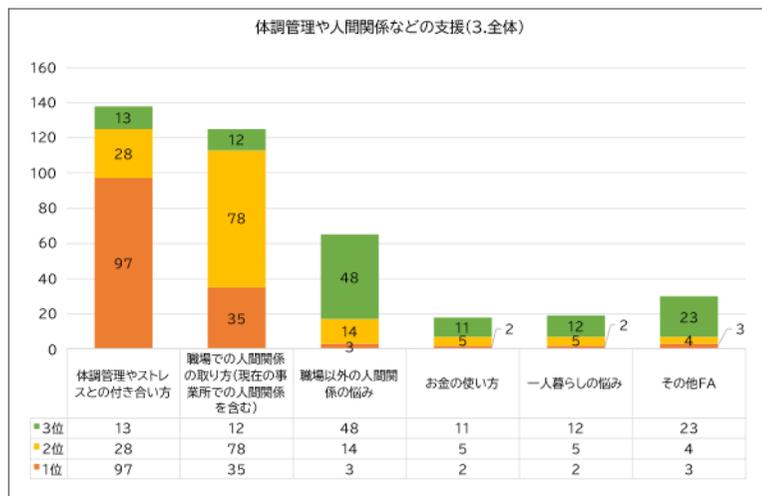


事業所での居場所や仲間づくりの支援	1位	2位	3位
自分らしくいられる雰囲気作り	23	10	3
仲間や友達を作りやすい機会の設定や雰囲気作り	12	18	8
みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)への参加勧奨	3	8	12
同じ趣味の仲間と楽しむ機会・サークル活動への参加勧奨	0	0	6
ピアサポートの実施(同じ立場の仲間が相談にのってくれる)	0	0	1
その他FA	1	2	2
無回答	4	5	11

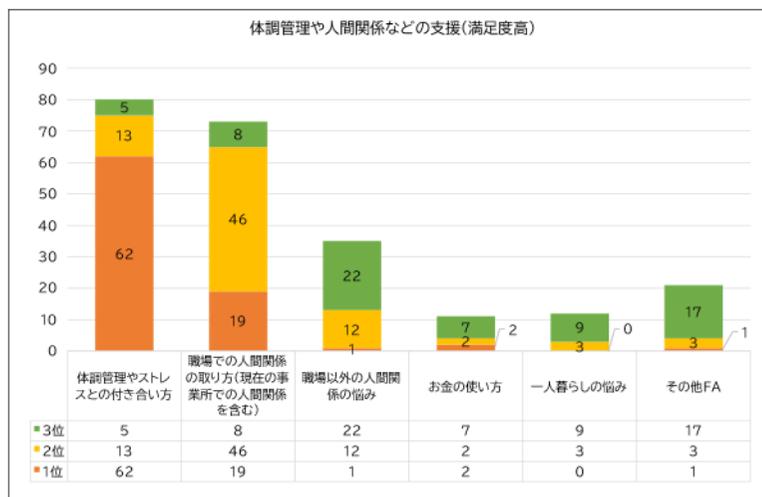


事業所での居場所や仲間づくりの支援	1位	2位	3位
自分らしくいられる雰囲気作り	15	5	2
仲間や友達を作りやすい機会の設定や雰囲気作り	6	13	4
みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)への参加勧奨	2	5	6
同じ趣味の仲間と楽しむ機会・サークル活動への参加勧奨	0	0	4
ピアサポートの実施(同じ立場の仲間が相談にのってくれる)	0	0	0
その他FA	1	1	2
無回答	2	2	8
合計	26	26	26

■ 「3.体調をくずさないようにはたらかしたい」方に対する支援内容

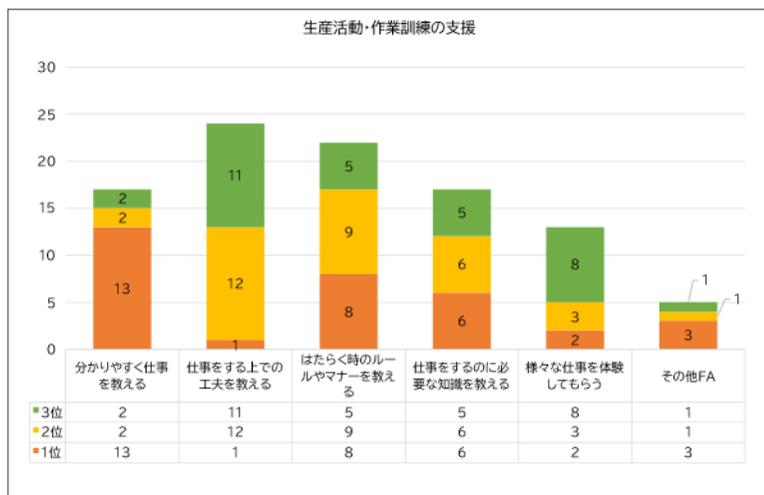


体調管理や人間関係などの支援	1位	2位	3位
体調管理やストレスとの付き合い方	97	28	13
職場での人間関係の取り方(現在の事業所での人間関係を含む)	35	78	12
職場以外の人間関係の悩み	3	14	48
お金の使い方	2	5	11
一人暮らしの悩み	2	5	12
その他FA	3	4	23
無回答	2	10	25
	144	144	144

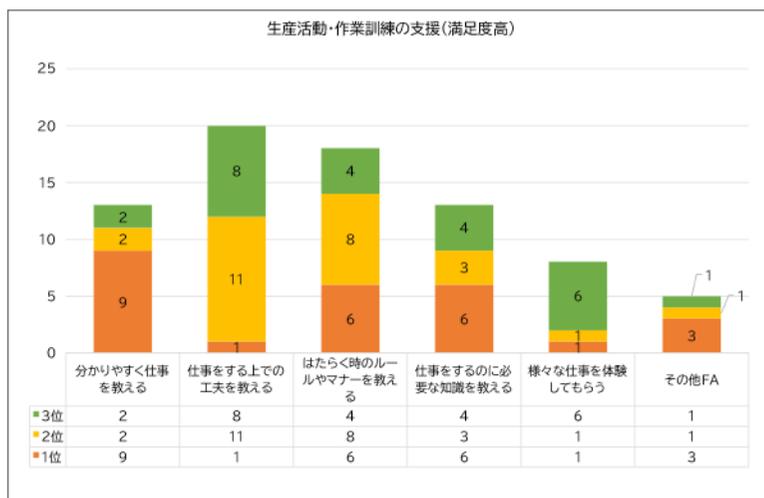


体調管理や人間関係などの支援	1位	2位	3位
体調管理やストレスとの付き合い方	62	13	5
職場での人間関係の取り方(現在の事業所での人間関係を含む)	19	46	8
職場以外の人間関係の悩み	1	12	22
お金の使い方	2	2	7
一人暮らしの悩み	0	3	9
その他FA	1	3	17
無回答	0	6	17
	85	85	85

■ 「5.はたらくための技術を身につけたい」方に対する支援内容

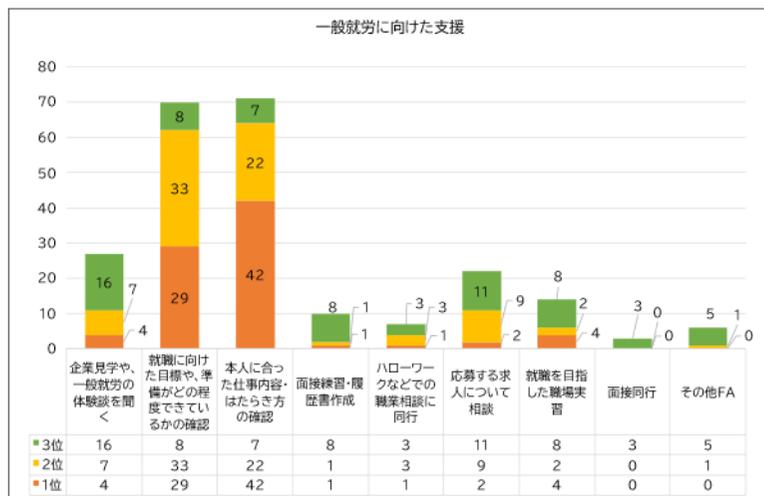


生産活動・作業訓練の支援	1位	2位	3位
分かりやすく仕事を教える	13	2	2
仕事をする上での工夫を教える	1	12	11
はたらく時のルールやマナーを教える	8	9	5
仕事をするのに必要な知識を教える	6	6	5
様々な仕事を体験してもらう	2	3	8
その他FA	3	1	1
無回答	4	4	5
	37	37	37

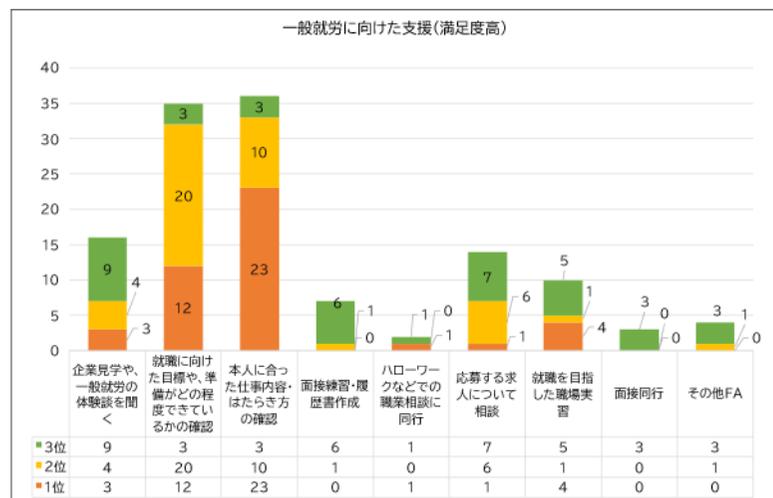


生産活動・作業訓練の支援	1位	2位	3位
分かりやすく仕事を教える	9	2	2
仕事をする上での工夫を教える	1	11	8
はたらく時のルールやマナーを教える	6	8	4
仕事をするのに必要な知識を教える	6	3	4
様々な仕事を体験してもらう	1	1	6
その他FA	3	1	1
無回答	3	3	4
	29	29	29

■ 「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」方に対する支援内容



一般就労に向けた支援	1位	2位	3位
企業見学や、一般就労の体験談を聞く	4	7	16
就職に向けた目標や、準備がどの程度できているかの確認	29	33	8
本人に合った仕事内容・はたらき方の確認	42	22	7
面接練習・履歴書作成	1	1	8
ハローワークなどでの職業相談に同行	1	3	3
応募する求人について相談	2	9	11
就職を目指した職場実習	4	2	8
面接同行	0	0	3
その他FA	0	1	5
無回答	15	20	29
合計	98	98	98



一般就労に向けた支援	1位	2位	3位
企業見学や、一般就労の体験談を聞く	3	4	9
就職に向けた目標や、準備がどの程度できているかの確認	12	20	3
本人に合った仕事内容・はたらき方の確認	23	10	3
面接練習・履歴書作成	0	1	6
ハローワークなどでの職業相談に同行	1	0	1
応募する求人について相談	1	6	7
就職を目指した職場実習	4	1	5
面接同行	0	0	3
その他FA	0	1	3
無回答	6	7	10
合計	50	50	50

◆ 本人の希望と事業所の認識が一致していない場合の、その希望に対する支援についての満足度 (①≠②)

【クロス分析】 (#1:第1回調査 #2:第2回調査)

- ① #2 利用者調査Q11 …本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
- ② #1 ケース票Q7 …事業所が認識している本人の現在のウォンツ
- ③ #2利用者Q11に対応する支援についての満足度

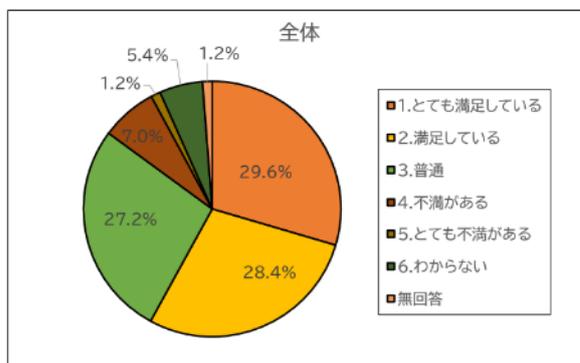
▶ ①≠②の利用者に関して、満足度③を集計分析

全体では、「1.とても満足している」「2.満足している」の合計が48.5%で、3事業のうち就労移行支援が1.+2.=53.0%と最も高かったが、①=②よりも20.3ポイント低い。

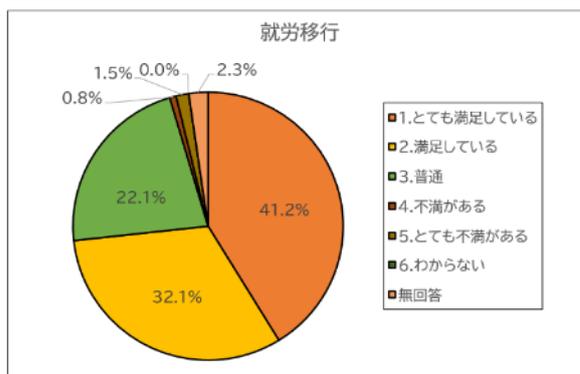
「6.わからない」の回答が全体で11.3%と、①=②よりも5%程度高くなっている。特に就労移行支援では、6.の回答が①=②では0%だったのに対し、①≠②では13.0%あった。

この結果から、本人自身がウォンツを認識していないケースも多少あるが、事業所の認識と本人の希望にギャップがある場合には、全体的に見て利用者満足度が低くなる傾向が見て取れる。

◆ 本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①=②)

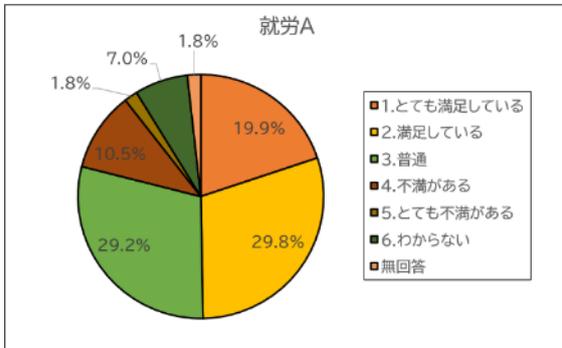


全体	件数	割合
1.とても満足している	147	29.6%
2.満足している	141	28.4%
3.普通	135	27.2%
4.不満がある	35	7.0%
5.とても不満がある	6	1.2%
6.わからない	27	5.4%
無回答	6	1.2%
合計	497	100.0%

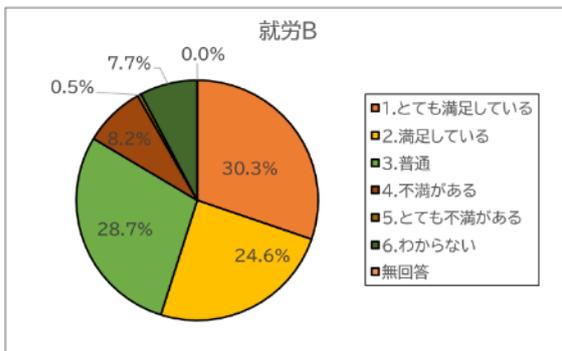


就労移行	件数	割合
1.とても満足している	54	41.2%
2.満足している	42	32.1%
3.普通	29	22.1%
4.不満がある	1	0.8%
5.とても不満がある	2	1.5%
6.わからない	0	0.0%
無回答	3	2.3%
合計	131	100.0%

◆本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①=②)

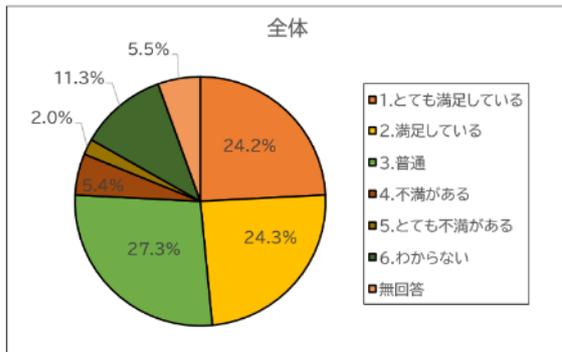


就労A	件数	割合
1. とても満足している	34	19.9%
2. 満足している	51	29.8%
3. 普通	50	29.2%
4. 不満がある	18	10.5%
5. とても不満がある	3	1.8%
6. わからない	12	7.0%
無回答	3	1.8%
合計	171	100.0%

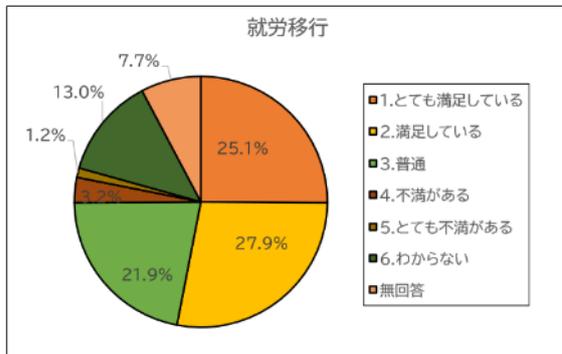


就労B	件数	割合
1. とても満足している	59	30.3%
2. 満足している	48	24.6%
3. 普通	56	28.7%
4. 不満がある	16	8.2%
5. とても不満がある	1	0.5%
6. わからない	15	7.7%
無回答	0	0.0%
合計	195	100.0%

◆本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①≠②)

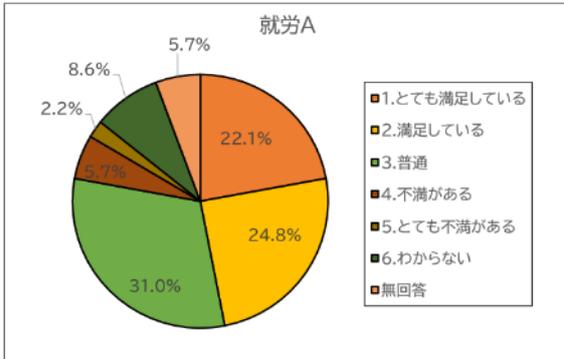


項目	件数	割合
1. とても満足している	261	24.2%
2. 満足している	262	24.3%
3. 普通	295	27.3%
4. 不満がある	58	5.4%
5. とても不満がある	22	2.0%
6. わからない	122	11.3%
無回答	59	5.5%
合計	1,079	100.0%

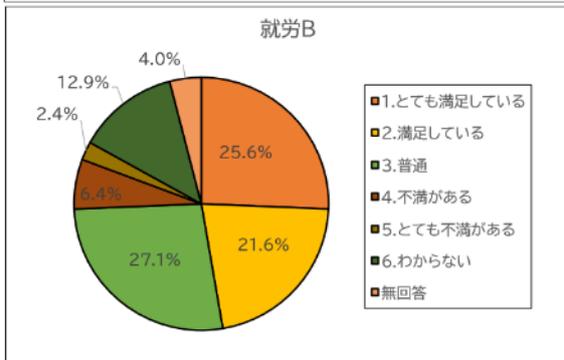


就労移行	件数	割合
1. とても満足している	62	25.1%
2. 満足している	69	27.9%
3. 普通	54	21.9%
4. 不満がある	8	3.2%
5. とても不満がある	3	1.2%
6. わからない	32	13.0%
無回答	19	7.7%
合計	247	100.0%

◆本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①≠②)



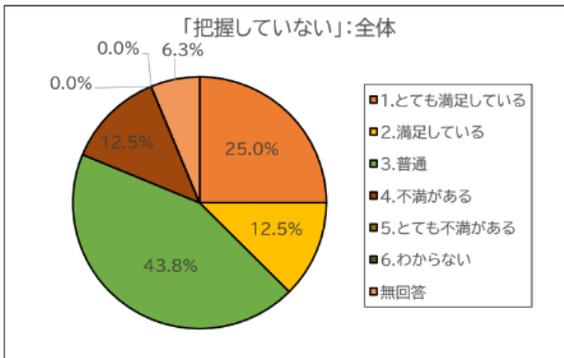
就労A	件数	割合
1.とても満足している	90	22.1%
2.満足している	101	24.8%
3.普通	126	31.0%
4.不満がある	23	5.7%
5.とても不満がある	9	2.2%
6.わからない	35	8.6%
無回答	23	5.7%
合計	407	100.0%



就労B	件数	割合
1.とても満足している	109	25.6%
2.満足している	92	21.6%
3.普通	115	27.1%
4.不満がある	27	6.4%
5.とても不満がある	10	2.4%
6.わからない	55	12.9%
無回答	17	4.0%
合計	425	100.0%

◆本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①≠②)

(参考)利用者ウォンツを「把握していない」事業所における満足度回答



項目	件数	割合
1.とても満足している	4	25.0%
2.満足している	2	12.5%
3.普通	7	43.8%
4.不満がある	2	12.5%
5.とても不満がある	0	0.0%
6.わからない	0	0.0%
無回答	1	6.3%
合計	16	100.0%

◆ 一般就労への希望に対する支援の状況（現在）

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

- ① #2 利用者調査Q11 ……本人が「現在」実現したいこと
「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」
- ② #2利用者調査Q25 ……「会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれること」(MA)
- ③ #2 利用者調査Q26 ……②の支援に対する満足度

➤ ①の回答に対し、事業別×障害別で②・③を集計分析

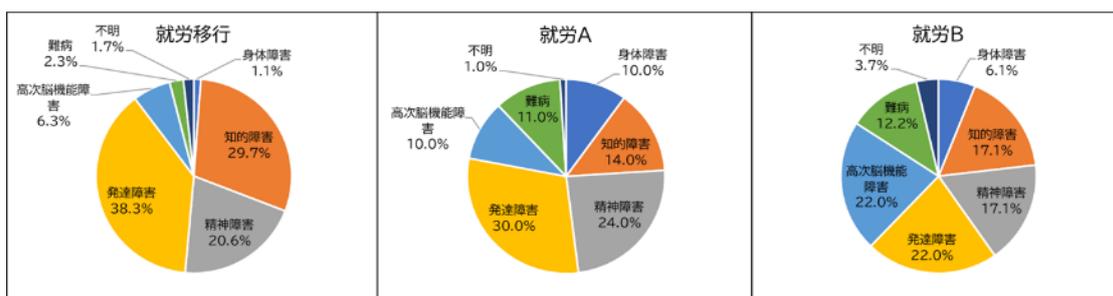
障害別の構成比としては、3事業とも発達障害が最も多く、2番目は就労移行支援では知的障害(29.7%)、就労継続支援 A 型は精神障害(24.0%)、就労継続支援 B 型は高次脳機能障害(同 22.0%)という結果だった。

実施されている支援(利用者調査側の回答)としては、利用者ウオンツでも最も多かった「就職に向けた目標設定や準備ができていないかの確認」が最も多く、企業見学、面接練習、応募する求人についての相談なども多く実施されている。

満足度に関しては、就労移行では当然高い満足度だが、就労継続支援 A 型では母数は少ないが知的障害で「不満がある」という回答が多くあり、他2事業と比べ不満の数が若干多い。

利用者調査Q11. 今は、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？
「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」(事業種別内構成比)

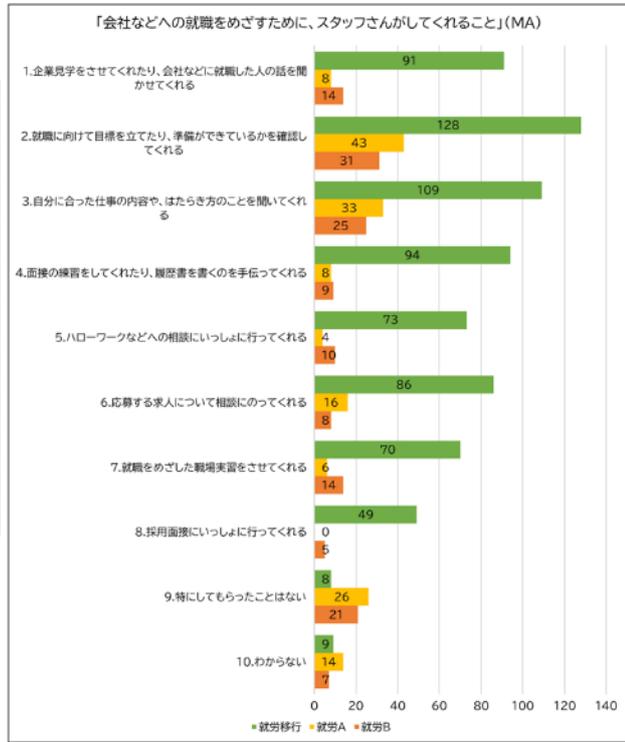
回答	全体		身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		難病		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	175	100.0%	2	1.1%	52	29.7%	36	20.6%	67	38.3%	11	6.3%	4	2.3%	3	1.7%
就労A	100	100.0%	10	10.0%	14	14.0%	24	24.0%	30	30.0%	10	10.0%	11	11.0%	1	1.0%
就労B	82	100.0%	5	6.1%	14	17.1%	14	17.1%	18	22.0%	18	22.0%	10	12.2%	3	3.7%
合計	357	100.0%	17	4.8%	80	22.4%	74	20.7%	115	32.2%	39	10.9%	25	7.0%	7	2.0%



- ① 利用者調査Q11「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」×
 ② 利用者調査Q25「会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれること」

② 利用者調査Q25
 「会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれること」(MA)

	就労移行	就労A	就労B	総計
1.企業見学をさせてくれたり、会社などに就職した人の話を聞かせる	91	8	14	113
2.就職に向けて目標を立てたり、準備ができているかを確認してくれる	128	43	31	202
3.自分に合った仕事の内容や、はたらき方のことを聞いてくれる	109	33	25	167
4.面接の練習をしてくれたり、履歴書を書くを手伝ってくれる	94	8	9	111
5.ハローワークなどへの相談にいっしょに行ってくれる	73	4	10	87
6.応募する求人について相談にのってくれる	86	16	8	110
7.就職をめざした職場実習をさせてくれる	70	6	14	90
8.採用面接にいっしょに行ってくれる	49	0	5	54
9.特にしてもらったことはない	8	26	21	55
10.わからない	9	14	7	30
総計	717	158	144	1,019



- ② 利用者調査Q25「会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれること」
 × ③ #2 利用者調査Q26 ②の支援に対する満足度

③ #2 利用者調査Q26 ②の支援に対する満足度

※ 構成比について ・事業種別→構集計 ・満足度→事業内集計	身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		難病		不明		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	2	1.2%	50	29.2%	35	20.5%	66	38.6%	11	6.4%	4	2.3%	3	1.8%	171	100.0%
1.とても満足している		0.0%	19	38.0%	13	37.1%	22	33.3%	3	27.3%	2	50.0%	1	33.3%	60	35.1%
2.満足している		0.0%	12	24.0%	14	40.0%	32	48.5%	5	45.5%	2	50.0%	1	33.3%	66	38.6%
3.普通	1	50.0%	15	30.0%	4	11.4%	10	15.2%	3	27.3%		0.0%	1	33.3%	34	19.9%
4.不満がある		0.0%	1	2.0%	1	2.9%	1	1.5%		0.0%		0.0%		0.0%	3	1.8%
5.とても不満がある		0.0%	1	2.0%	2	5.7%	1	1.5%		0.0%		0.0%		0.0%	4	2.3%
6.わからない	1	50.0%	2	4.0%	1	2.9%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	4	2.3%
就労A	10	10.2%	13	13.3%	24	24.5%	30	30.6%	9	9.2%	11	11.2%	1	1.0%	98	100.0%
1.とても満足している		0.0%	1	7.7%	3	12.5%	4	13.3%	3	33.3%	2	18.2%		0.0%	13	13.3%
2.満足している	1	10.0%	1	7.7%	6	25.0%	6	20.0%	2	22.2%	3	27.3%		0.0%	19	19.4%
3.普通	7	70.0%	3	23.1%	8	33.3%	13	43.3%	3	33.3%	1	9.1%		0.0%	35	35.7%
4.不満がある	1	10.0%	6	46.2%	2	8.3%	2	6.7%	1	11.1%	1	9.1%		0.0%	13	13.3%
5.とても不満がある		0.0%		0.0%	1	4.2%	1	3.3%		0.0%	2	18.2%	1	100.0%	5	5.1%
6.わからない	1	10.0%	2	15.4%	4	16.7%	4	13.3%		0.0%	2	18.2%		0.0%	13	13.3%
就労B	5	6.2%	13	16.0%	14	17.3%	18	22.2%	18	22.2%	10	12.3%	3	3.7%	81	100.0%
1.とても満足している		0.0%	4	30.8%	2	14.3%	5	27.8%	1	5.6%	5	50.0%	1	33.3%	18	22.2%
2.満足している	1	20.0%	3	23.1%	4	28.6%	4	22.2%	4	22.2%	3	30.0%		0.0%	19	23.5%
3.普通	1	20.0%	2	15.4%	5	35.7%	5	27.8%	7	38.9%	2	20.0%	2	66.7%	24	29.6%
4.不満がある	1	20.0%		0.0%	1	7.1%		0.0%	2	11.1%		0.0%		0.0%	4	4.9%
5.とても不満がある	1	20.0%		0.0%		0.0%		0.0%	1	5.6%		0.0%		0.0%	2	2.5%
6.わからない	1	20.0%	4	30.8%	2	14.3%	4	22.2%	3	16.7%		0.0%		0.0%	14	17.3%
総計	17	4.9%	76	21.7%	73	20.9%	114	32.6%	38	10.9%	25	7.1%	7	9.6%	350	100.0%

◆ 一般就労への希望に対する支援の状況（今後）

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

- ① #2 利用者調査Q39 …あなたは今後どのようなところではたらきたいですか？
「2.会社などに就職したい」
 - ② #2利用者調査Q39◎ …それは、いつごろまでにしたいことですか？
 - ✓ 「1. 今すぐにでもしたい」 + 「2. 1年以内にはしたい」
 - ✓ 「3. 1年～2年以内にはしたい」
 - ③ #2 事業所調査Q8 …現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえて、どのような支援が最も必要と考えるか = 「ニーズ」
 - ✓ 1年以内
 - ✓ 1年～2年以内
 - ④ #2 事業所調査Q4 …「一般就労に向け特に重点を置いて実施している支援」
- ③について、現在(1年以内)→今後(1年～2年以内)のニーズの変化を見る
- ①の回答につき、②と③の同期間内の「ニーズ」と④をクロスし事業別で集計

現在(1年以内)→今後(1年～2年以内)のニーズに変化のあった項目を見ていくと、就労移行支援では「体調を安定させてはたらくための支援」や「はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援」から、「一般就労の実現や就職後の定着のための支援」への変化の数が多く、事業の性質がわかりやすく結果に表れている。

就労継続支援 A 型では「はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援」から、「一般就労の実現や就職後の定着のための支援」への変化の数が多く、A 型から一般就労へのステップアップをイメージしているような回答が見えた。一方で、今後(1年～2年以内)においても変化なく「体調を安定させてはたらくための支援」を必要と考える回答も多く、こちらは少し長いスパンで体調面を考慮しながら、A 型事業所で継続してはたらいっていくイメージの回答が一定数あったのではないかという推測が立ち、こちらも就労継続支援 A 型の事業特性が垣間見える結果となっている。(参考事例:ヒアリング調査p.147～149)

就労継続支援 B 型では、現在は「体調を安定させてはたらくための支援」を必要と考える回答が特に多いが、そこからの今後のニーズについては満遍なくバラけており、特徴的な傾向は見られなかった。

#2 事業所調査Q8 事業所が考えるニーズ 現在<1年以内> → 今後<1年～2年以内> の変化

Q8 現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえて、どのような支援が最も必要と考えるか
<1年以内> × <1年～2年以内>

1年以内ニーズ	1年～2年以内ニーズ	居場所や仲間を作るための支援	仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	体調を安定させてはたらくための支援	より工賃・賃金を稼ぐための支援	はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	一般就労の実現や就職後の定着のための支援	総計
就労移行支援								
居場所や仲間を作るための支援			1	4			1	6
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援							3	6
体調を安定させてはたらくための支援			1	7			14	32
より工賃・賃金を稼ぐための支援							1	2
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			2	1			4	20
一般就労の実現や就職後の定着のための支援		1	3	6			1	29
就労移行支援 集計		1	7	18			24	95
就労継続A型								
居場所や仲間を作るための支援			1					1
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援			1	1			2	6
体調を安定させてはたらくための支援			4	10	1		6	24
より工賃・賃金を稼ぐための支援							1	3
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援				1		1	5	21
一般就労の実現や就職後の定着のための支援								4
就労継続A型 集計			6	12	2		14	59
就労継続B型								
居場所や仲間を作るための支援		2					2	5
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援			1			1		2
体調を安定させてはたらくための支援		2	5	4	3		7	23
より工賃・賃金を稼ぐための支援					1			2
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			1	1		1	3	8
一般就労の実現や就職後の定着のための支援								2
就労継続B型 集計		4	7	6	6		12	42
総計		5	20	36	8		50	196

#2 利用者調査Q39◎「1. 今すぐにもほしい」+「2. 1年以内にはしたい」 × #2 事業所調査Q8 事業所が考えるニーズ<1年以内> × #2 事業所調査Q4 「一般就労に向け特に重点を置いて実施している支援 1位」

Q39. あなたは今後どのようなところではたらかたいですか？

「2.会社などに就職したい」

「1. 今すぐにもほしい」+「2. 1年以内にはしたい」

1年以内ニーズ	重点を置いて実施している支援1位	企業見学や、一般就労の体験談を聞く	就職に向けた目標や、準備がどの程度できているかの確認	本人に合った仕事内容・はたらき方の確認	面接練習・履歴書作成	ハローワークなどでの職業相談に同行	応募する求人について相談	就職を目指した職場実習	面接同行	合計
就労移行支援										
居場所や仲間を作るための支援			2							2
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援										0
体調を安定させてはたらくための支援			6	10	3	1				20
より工賃・賃金を稼ぐための支援				1						1
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			3	3	1			2		9
一般就労の実現や就職後の定着のための支援		4	3	10			1	2	5	25
就労移行支援 集計		4	14	24	4	2	2	7		57
就労継続A型										
居場所や仲間を作るための支援										0
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援					2					2
体調を安定させてはたらくための支援		1	3	4			1			9
より工賃・賃金を稼ぐための支援				1						1
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			1	4	1		2			8
一般就労の実現や就職後の定着のための支援			1				1			2
就労継続A型 集計		1	5	11	1		4			22
就労継続B型										
居場所や仲間を作るための支援										0
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援										0
体調を安定させてはたらくための支援			2	2						4
より工賃・賃金を稼ぐための支援				1						1
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援				1						1
一般就労の実現や就職後の定着のための支援				1						1
就労継続B型 集計			2	5						7
総計		5	21	40	5	2	6	7	0	86

#2 利用者調査Q39◎「3. 1年～2年以内にはしたい」

× #2 事業所調査Q8 事業所が考えるニーズ<1年～2年以内>

× #2 事業所調査Q4 「一般就労に向け特に重点を置いて実施している支援 1位」

Q39. あなたは今後どのようなところではたらきたいですか？

「2.会社などに就職したい」

「3. 1年～2年以内にはしたい」

1年～2年以内ニーズ	重点を置いて実施している支援1位	企業見学や、一般就労の体験談を聞く	就職に向けた目標や、準備がどの程度できているかの確認	本人に合った仕事内容・はたらき方の確認	面接練習・履歴書作成	ハローワークなどでの職業相談に同行	応募する求人について相談	就職を目指した職場実習	面接同行	合計
就労移行支援										
居場所や仲間を作るための支援										0
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援			1	1						2
体調を安定させてはたらくための支援			1	1	1					3
より工資・賃金を稼ぐための支援										0
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	1		1	2	1					5
一般就労の実現や就職後の定着のための支援			4	3				1		8
就労移行支援 集計	1		7	7	2			1		18
就労継続A型										
居場所や仲間を作るための支援										0
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援										0
体調を安定させてはたらくための支援				1						1
より工資・賃金を稼ぐための支援										
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			2	2						4
一般就労の実現や就職後の定着のための支援			3	6						9
就労継続A型 集計			5	9						14
就労継続B型										
居場所や仲間を作るための支援								1		1
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援										0
体調を安定させてはたらくための支援										0
より工資・賃金を稼ぐための支援			1	1						2
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援				2						2
一般就労の実現や就職後の定着のための支援				2						2
就労継続B型 集計			1	5				1		7
総計	1		13	21	2	0	0	2	0	39

◆ 工賃(賃金)向上への希望に対する支援の状況

【クロス分析】 (#1:第1回調査 #2:第2回調査)

- ① #2 利用者調査Q11 …本人が「現在」実現したいこと
「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」
 - ② #2利用者調査Q23 …毎月の工賃(賃金)への満足度
 - ③ #2利用者調査Q19 …障害年金の等級
 - ④ #2利用者調査Q18 …先月の工賃(賃金)の額
 - ⑤ #2利用者調査Q24 …希望工賃(賃金)の額
- ①を選択した方について②で現状の満足度、及び③×(⑤-④)のクロスで年金受給状況別に希望工賃(賃金)の額と現在の工賃(賃金)の差を見る

現状の工賃(賃金)への満足度では、就労継続支援 A 型で満足度高(1.+2.)の割合が4割強となっている。3 事業とも「普通」の回答が最も多いが、就労継続支援 B 型では不満(4.+5.)の割合が3割を超えている。工賃を稼ぎたい利用者に関しては、就労継続支援 B 型の工賃では不満という結果はある程度想定できるものではある。

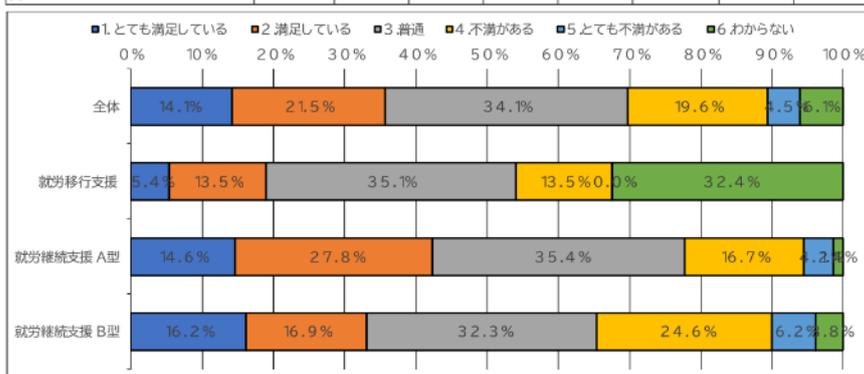
希望工賃(賃金)と現状の工賃(賃金)との差が生じている回答では、障害年金 2 級の受給者が特に多く、そのうち1~29,999 円の範囲に25.3%の回答があった。特に、就労継続支援 A 型の年金 2 級という回答が最も多かった。

就労継続支援 A 型では現行賃金が50,000~100,000 円の割合が8割を超えているため、この層に上記の額を足した80,000~130,000 円程度+障害基礎年金 2 級:7万円程度=15~20万円/月程度の生活水準を希望している方が多いと推計することができる。

#2 利用者調査 Q11 :「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」 × Q23. 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれぐらい満足していますか?

Q23. 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれぐらい満足していますか? (選択は1つ)

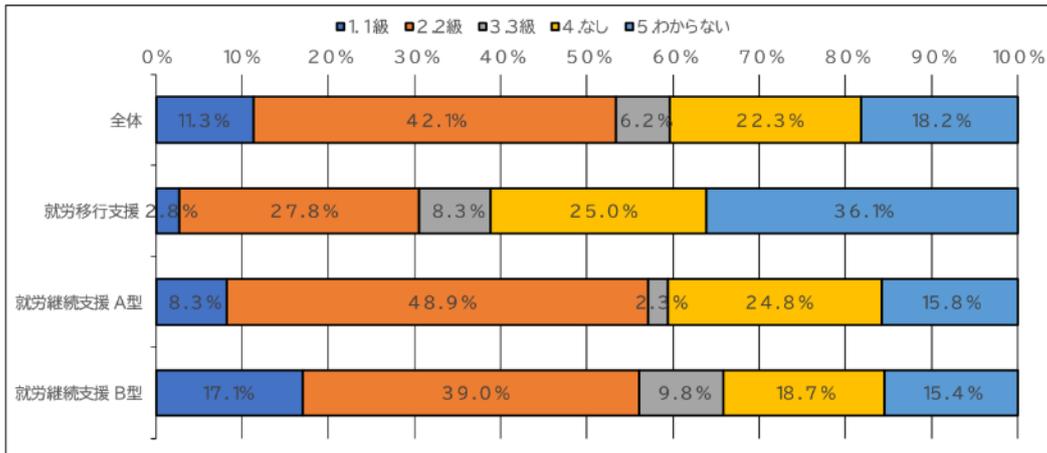
回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	44	14.1%	2	5.4%	21	14.6%	21	16.2%
2.満足している	67	21.5%	5	13.5%	40	27.8%	22	16.9%
3.普通	106	34.1%	13	35.1%	51	35.4%	42	32.3%
4.不満がある	61	19.6%	5	13.5%	24	16.7%	32	24.6%
5.とても不満がある	14	4.5%	0	0.0%	6	4.2%	8	6.2%
6.わからない	19	6.1%	12	32.4%	2	1.4%	5	3.8%
計	311	100.0%	37	100.0%	144	100.0%	130	100.0%



#2 利用者調査 Q11 :「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」 ×
Q19. 障害年金をもらっている場合、その等級を教えてください。

Q19. 障害年金をもらっている場合、その等級を教えてください。(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.1級	33	11.3%	1	2.8%	11	8.3%	21	17.1%
2.2級	123	42.1%	10	27.8%	65	48.9%	48	39.0%
3.3級	18	6.2%	3	8.3%	3	2.3%	12	9.8%
4.なし	65	22.3%	9	25.0%	33	24.8%	23	18.7%
5.わからない	53	18.2%	13	36.1%	21	15.8%	19	15.4%
計	292	100.0%	36	100.0%	133	100.0%	123	100.0%



#2 利用者調査 Q11 :「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」 ×
Q18. 先月のお給料(工賃・賃金)の金額を教えてください。

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0	13	4.9%	8	29.6%	4	3.1%	1	0.9%
1~10000	36	13.6%	3	11.1%	6	4.7%	27	24.3%
10001~20000	48	18.1%	4	14.8%	0	0.0%	44	39.6%
20001~30000	22	8.3%	5	18.5%	1	0.8%	16	14.4%
30001~40000	19	7.2%	4	14.8%	3	2.4%	12	10.8%
40001~50000	7	2.6%	1	3.7%	1	0.8%	5	4.5%
50001~60000	9	3.4%	0	0.0%	6	4.7%	3	2.7%
60001~70000	21	7.9%	0	0.0%	20	15.7%	1	0.9%
70001~80000	26	9.8%	0	0.0%	26	20.5%	0	0.0%
80001~90000	39	14.7%	1	3.7%	37	29.1%	1	0.9%
90001~100000	15	5.7%	1	3.7%	14	11.0%	0	0.0%
100001~110000	4	1.5%	0	0.0%	4	3.1%	0	0.0%
110001~120000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
120001~130000	1	0.4%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
130001~140000	1	0.4%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
140001~150000	3	1.1%	0	0.0%	2	1.6%	1	0.9%
150001~160000	1	0.4%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
160001~170000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
170001~180000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
180001~190000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
190001~200000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
200001~	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	265	100.0%	27	100.0%	127	100.0%	111	100.0%

#2 利用者調査 Q11 :「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」 ×
Q24. あなたは1か月いくらぐらいのお給料(工賃・賃金)をほしいと思いますか？

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0	4	1.7%	0	0.0%	2	1.9%	2	2.0%
1~10000	15	6.5%	2	7.1%	3	2.9%	10	9.9%
10001~20000	23	9.9%	1	3.6%	0	0.0%	22	21.8%
20001~30000	18	7.8%	1	3.6%	0	0.0%	17	16.8%
30001~40000	9	3.9%	1	3.6%	1	1.0%	7	6.9%
40001~50000	26	11.2%	7	25.0%	0	0.0%	19	18.8%
50001~60000	6	2.6%	0	0.0%	3	2.9%	3	3.0%
60001~70000	10	4.3%	1	3.6%	6	5.8%	3	3.0%
70001~80000	18	7.8%	0	0.0%	17	16.5%	1	1.0%
80001~90000	11	4.7%	0	0.0%	9	8.7%	2	2.0%
90001~100000	43	18.5%	7	25.0%	28	27.2%	8	7.9%
100001~110000	2	0.9%	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%
110001~120000	10	4.3%	1	3.6%	8	7.8%	1	1.0%
120001~130000	4	1.7%	0	0.0%	3	2.9%	1	1.0%
130001~140000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
140001~150000	11	4.7%	0	0.0%	9	8.7%	2	2.0%
150001~160000	1	0.4%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%
160001~170000	1	0.4%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%
170001~180000	4	1.7%	2	7.1%	2	1.9%	0	0.0%
180001~190000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
190001~200000	7	3.0%	2	7.1%	4	3.9%	1	1.0%
200001~	9	3.9%	3	10.7%	4	3.9%	2	2.0%
計	232	100.0%	28	100.0%	103	100.0%	101	100.0%

<Q24. 希望工賃(賃金)> - <Q18.先月の工賃(賃金)>

※ Q24またはQ18が無回答の場合は回答を除外

<希望工賃>-<先月工賃>	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
障害年金1級	22	12.4%	0	0.0%	7	8.6%	15	20.0%
1円~9,999円	8	4.5%		0.0%	2	2.5%	6	8.0%
10,000円~29,999円	8	4.5%		0.0%	2	2.5%	6	8.0%
30,000円~49,999円	3	1.7%		0.0%	2	2.5%	1	1.3%
50,000円~99,999円	2	1.1%		0.0%	1	1.2%	1	1.3%
100,000円以上	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
障害年金2級	79	44.4%	8	36.4%	43	53.1%	28	37.3%
1円~9,999円	22	12.4%	1	4.5%	8	9.9%	13	17.3%
10,000円~29,999円	23	12.9%	2	9.1%	13	16.0%	8	10.7%
30,000円~49,999円	15	8.4%	1	4.5%	9	11.1%	5	6.7%
50,000円~99,999円	12	6.7%	2	9.1%	10	12.3%		0.0%
100,000円以上	7	3.9%	2	9.1%	3	3.7%	2	2.7%
障害年金3級	11	6.2%	2	9.1%	1	1.2%	8	10.7%
1円~9,999円	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
10,000円~29,999円	3	1.7%	1	4.5%		0.0%	2	2.7%
50,000円~99,999円	6	3.4%	1	4.5%	1	1.2%	4	5.3%
100,000円以上	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
障害年金受給なし	37	20.8%	5	22.7%	17	21.0%	15	20.0%
1円~9,999円	3	1.7%		0.0%	1	1.2%	2	2.7%
10,000円~29,999円	12	6.7%	1	4.5%	7	8.6%	4	5.3%
30,000円~49,999円	10	5.6%		0.0%	3	3.7%	7	9.3%
50,000円~99,999円	8	4.5%	2	9.1%	4	4.9%	2	2.7%
100,000円以上	4	2.2%	2	9.1%	2	2.5%		0.0%
障害年金受給わからない	29	16.3%	7	31.8%	13	16.0%	9	12.0%
1円~9,999円	5	2.8%	1	4.5%	4	4.9%		0.0%
10,000円~29,999円	10	5.6%	1	4.5%	3	3.7%	6	8.0%
30,000円~49,999円	4	2.2%	1	4.5%	1	1.2%	2	2.7%
50,000円~99,999円	6	3.4%	2	9.1%	3	3.7%	1	1.3%
100,000円以上	4	2.2%	2	9.1%	2	2.5%		0.0%
総計	178	100.0%	22	100.0%	81	100.0%	75	100.0%

◆ 総合満足度が低い事業所の傾向

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

① #2 利用者調査Q37 …今かよっている事業所にきてよかったと思いますか？
「いいえ」≒「総合満足度が低い」として回答を抽出

② #2利用者調査Q37 ▼ …「いいえ」と答えた理由は何ですか？(MA)

➤ ②の回答を、事業種別×障害種別で②・③を集計分析

就労移行支援では精神障害、発達障害が同数で最も多く、就労継続支援 A 型では身体障害、就労継続支援 B 型では知的障害が最も多かった。

その理由については、就労移行では「あまり工賃がもらえない」や「就職ができそうにない」が多く、就労継続支援 A 型では「居場所がない、人間関係がうまくいかない」「生きがい・やりがいを感じられない」、就労継続支援 B 型では「生きがい・やりがいを感じられない」、「就職ができそうにない」が多い回答だった。

総合満足度が低い事業所の傾向

※ 構成比について ・事業種別→横集計 ・満足度→事業内縦集計	身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		難病		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	0	0.0%	6	17.6%	14	41.2%	14	41.2%	0	0.0%	0	0.0%	34	100.0%
1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.9%
2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから	0	0.0%	0	0.0%	3	21.4%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	11.8%
3.ここで仕事をしても、生きがい・やりがいを感じられないから	0	0.0%	2	33.3%	2	14.3%	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	6	17.6%
4.体調をくずしやすく、仕事を続けていくのがむずかしそうだから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5.仕事や訓練がづらい・大変だから	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.9%
6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから	0	0.0%	2	33.3%	3	21.4%	3	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	8	23.5%
7.はたらくための技術を身につけられないから	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.9%
8.会社などに就職ができそうにないから	0	0.0%	2	33.3%	2	14.3%	3	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	7	20.6%
9.その他	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.8%
10.わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労A	33	51.6%	17	26.6%	5	7.8%	8	12.5%	1	1.6%	0	0.0%	64	100.0%
1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから	3	9.1%	5	29.4%	1	20.0%	1	12.5%	1	100.0%	0	0.0%	11	17.2%
2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから	3	9.1%	3	17.6%	1	20.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	12.5%
3.ここで仕事をしても、生きがい・やりがいを感じられないから	5	15.2%	2	11.8%	1	20.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	15.6%
4.体調をくずしやすく、仕事を続けていくのがむずかしそうだから	1	3.0%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
5.仕事や訓練がづらい・大変だから	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから	5	15.2%	3	17.6%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	9	14.1%
7.はたらくための技術を身につけられないから	2	6.1%	0	0.0%	1	20.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.3%
8.会社などに就職ができそうにないから	5	15.2%	1	5.9%	1	20.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	12.5%
9.その他	5	15.2%	2	11.8%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	12.5%
10.わからない	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
就労B	13	31.0%	19	45.2%	2	4.8%	0	0.0%	7	16.7%	1	2.4%	42	100.0%
1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから	1	7.7%	4	21.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	11.9%
2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから	1	7.7%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	5	11.9%
3.ここで仕事をしても、生きがい・やりがいを感じられないから	5	38.5%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	8	19.0%
4.体調をくずしやすく、仕事を続けていくのがむずかしそうだから	1	7.7%	3	15.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	5	11.9%
5.仕事や訓練がづらい・大変だから	1	7.7%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%
6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから	2	15.4%	2	10.5%	1	50.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	6	14.3%
7.はたらくための技術を身につけられないから	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	4.8%
8.会社などに就職ができそうにないから	2	15.4%	4	21.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	7	16.7%
9.その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10.わからない	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	2	4.8%
総計	46	32.9%	42	30.0%	21	15.0%	22	15.7%	8	5.7%	1	0.7%	140	100.0%

3.3 ヒアリング調査結果

<調査仕様>

➤ 調査目的:

各調査の集計結果から、利用者本人の「ウォンツ」と事業所が見立てる「ニーズ」の一致度が高く、かつそれに対する支援が適切に行われている(と思われる)ため、利用者からの評価や満足度が高い事業所を抽出し、支援の実際・実態をヒアリングすることで、就労系事業所における望ましい支援のあり方の考察につなげる。

➤ 調査方法

◇ 12 セグメント：事業別 3 種(移行・A・B)×障害種別 4 種(身体・知的・精神・発達他)から、候補となる事業所+利用者を 15 名選定

◇ オンライン会議方式で実施

➤ 調査時期:令和5年1月12日～令和5年2月2日

【調査結果(利用者)】

○ 就労移行支援事業所

障害種別	精神障害
年齢層	40才～49才

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		通所し始めて1年と少し
利用までの経緯	直近どこにいたか	この事業所利用前は自宅にいた。就職していた経験あり。
	知った経緯	いくつかの事業所を見学して、1日1時間からでもよいというところに惹かれた。
	利用の決め手(どこがよかった?)	自分は睡眠障害がひどかったため、体調に合わせて通えるところがよかった。
事業所の印象	就業環境	決められたプログラムは1h/日だけで、あとは自習となっている。
	居心地	広々として開放感があり、利用者間の間隔なども適切で、非常に居心地がいい。
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	自習時間は、資格試験の勉強。最近ではITパスポートの勉強をして取得し、現在は簿記の勉強をしている。
	1日何時間ぐらい働いてる?	10-15時の4hで任意参加のプログラムがそのうち1h
	週何日勤務?	5日/週
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	はじめはまず体調を整えるところからだったが、夏ぐらいにMOSの資格試験を終えて、だんだん体調が整ってきたのを実感してきたので、就職に向けた相談・活動を始めた。
	前と今でやりたい仕事は変わった? /なぜ変わった?	元々PCが得意だったので変わっていない
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	特に問題はない
	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	実は就職活動に区切りがついて、来週から仕事が決まった。インフラ系の会社で紹介はハローワークの合同面接会で、面接の練習などもしてもらってから声を掛けてもらった。求職のときは、PCスキルをそれなりにきちんとしたレベルで求められる仕事を探していた
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	1人に1人の担当スタッフがついてくれて、もう1人キャリアコンサルタントの人にもサポートしてもらえた。スタッフさんには受けた案件の仕事量の調整や相談をすることができた。
	いつでも相談可? 定期相談ある?	都度の相談もあったが、それ以外に月に1回定期的に総合的なことを聞いてもらえる機会があった
サポート	(2の自分の希望について)助けてもらっている?	面接練習などは、就職活動が進むタイミングに合わせてスタッフさんと相談しながら随時やってもらうことができた
	どんなことを助けてもらっているか	最初の半年は生活リズムづくりだったが、半年たったぐらいから仕事に復帰するための合同面接会への参加や、面接技法、身だしなみ、履歴書の中身チェックなど、様々なサポートをしてもらった
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	自習の素材はとても充実していて文句ないが、もう少し障害特性に合わせた参考書みたいなものがあったら、もう少し面接などに踏み出しやすくなるかも。しかしその分、人でまかなえているので問題はないと思う

障害種別	知的障害
年齢層	20才～29才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		3年目
利用までの経緯	直近どこにいたか	車関係の会社で洗車のお仕事をしていた
	知った経緯	ナカポツからの紹介→体験してみて 他も1件紹介してもらったが、こちらに決めた
	利用の決め手(どこがよかった?)	野菜の収穫など、やってみたいと思った。作業が楽しそうだった
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	野菜の収穫、ハウスの石拾い、草刈り、トイレ清掃
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	楽しい 体を動かす仕事が好き
	1日何時間ぐらい働いてる?	9時から15時
	週何日勤務?	5日/週(木、日が休み)
	わからないことがあったときはどうする?	近くにいるスタッフさんに聞く:すぐ教えてくれる
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	昔は農作業に興味がなかった やってみたいこと:洗濯物をたたむ、清掃、請負の会社に行く →やってみたいこともあるが今の仕事をがんばりたい
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	他の仕事も見たいと言ってみたことがある →見学させてもらったこともある
	将来の夢、暮らし方	ひとり暮らししたい:現在実家→独立して暮らしたい できれば今年中に就職したい→清掃業務:2週間に1回トイレ掃除(車メーカーの農林事務所)のお手伝いをして練習してる
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	すぐに相談に乗ってもらえる
	いつでも相談可?定期相談ある?	3か月に1回面談あり
サポート	どんなことを助けてもらっているか	野菜の収穫のやり方を教えてもらっている ほうれん草の切り方など(根元から切るなど) 草刈りが苦手:機械を使ってきれいに刈るのがむずかしい →うまくいかなかったらスタッフさんに相談して自分でやり直す
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	覚えていない

障害種別	発達障害
年齢層	18才~19才
性別	女

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		1年10カ月
利用までの経緯	直近どこにいたか	高校→アルバイトしようとしたが面接で落ちた
	知った経緯	母から進められて
事業所の印象	居心地	雰囲気がいい
現在の希望	今がんばっていること、目標にしていること	つくったり、組み立てたり
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	部品パックの中の検査、清掃業務
	1日何時間ぐらい働いてる？	9-16時 朝礼～実習
	週何日勤務？	5日/週 月～金
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事？ 今やりたい仕事は？	今の仕事が合っていると思う
	前と今でやりたい仕事は変わった？/なぜ変わった？	変わってない
希望	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	特にない 今の仕事でいい
	将来の夢、暮らし方	一般就労したい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	信頼できる人に相談する
	いつでも相談可？定期相談ある？	そんなに相談することがない
サポート	どんなことを助けてもらっているか	ハローワークの求人票を見ること

障害種別	身体障害
年齢層	50才～59才
性別	女

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		2014～ 基礎コースにいた→文字起こしコースに移った 2021.4～ 応用コース
利用までの経緯	直近どこにいたか	基礎コース→速記コース→B型→鍼灸あんまマッサージ(地元)
	知った経緯	区福祉センター:視覚障害重たくなってきたときに体操教室、折り紙教室に通っていたら ボランティアの人が教えてくれた
事業所の印象	スタッフさん	普通の社会とつなげてくれる存在
	就業環境	できないというところから 繰り返し教えてくれた 正確さやこれでもいいんだというところを絞って こうしたら良いと指導してくれる
	居心地	ほどよい距離感がある
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	30歳で視覚障害わかった→盲学校行って資格取得 →体力的にむずかしくなってくる+今はマッサージのところでもPCスキルが求められるから訓練している
	1日何時間ぐらい働いてる?	地元のマッサージ 高齢者マッサージに 1万円/回 月5回 視覚障害の神社 治療所 5000円
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	マッサージ 技術的には働いていける だけではダメなので PC:お客さん対応
	前と今でやりたい仕事は変わった? /なぜ変わった?	視覚障害があってもみんな楽しくやっているんだとわかった 全盲の方が多かった その中で普通に仕事してるのが どうい距離感、社会との関わりしてるのか 自分の立ち位置がわかった ガイドヘルパー、ヘルパー利用への気持ちの壁がなくなった 見えないことを見るふりしなくていい (自分自身の)足元がしっかりする
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	言えばすぐにやらせてもらえる
	将来の夢、暮らし方	もっと上の年代の方がいるが、情報共有していきたい 80代の人などに伝えていきたい 地元で還元していきたい 若い人だけじゃなく
賃金・工賃	増やしたいのは時間?日数?→スタッフさんに言える?	もう少し多くマッサージの仕事ができれば
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	いつでも相談可?定期相談ある?	電話でもいいし、メールなどでもできる 3か月に一度定期面談
サポート	どんなことを助けてもらっているか	文字が見えない こういう風にすれば見える PCに映して見える 表など 目盛りなど読み取りむずかしい ものを工夫できるように ノウハウがいっぱいある PC検定のデータなどもあるので助かる
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	最初面接にきたとき、スタッフさんが点字をすぐに名刺に打ってくれた 自分の方に降りてきてくれる ハードル
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	うわさ がまわっていくこと 不満などがあって受け止めてもらったときに親身になって心配してくれるが、自分としてはもう一歩がんばるところだと思っても、そこで無理はしなくてもいいと言われてしまう。 コロナがあったあと、2wだけじゃなく、3か月ぐらい待機させられてしまった

障害種別	身体障害
年齢層	40才～49才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		2022.4.20～
利用までの経緯	直近どこにいたか	IT系の一般企業
	知った経緯	5-6年前にこういう場所があると聞いていた 1回見学にきて、いずれ来ようかなと思っていた:進行性の障害のため、いずれ来るようになるかも思っていた
	利用の決め手(どこがよかった?)	前職は早期退職59歳で もう少しはたらきたいと思った 延長が降りないと思った 速記コース(テープ起こし)なら 70ぐらいまで努められると聞いた ExcelやWordはできていた マクロなどはできないが 表計算はOK
事業所の印象	スタッフさん	みなさん気持ちの良い先生
	就業環境	カリキュラムが作りこまれている 音声ソフトが充実してきて 変遷も知っていて 工夫されている 速記コースに関して
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	テープ起こしの仕事に向けた訓練 今は音声を聞きながらではなく、漢字2000文字を暗記
	1日何時間ぐらい働いてる?	2h:10-12時、13-15時
	週何日勤務?	4日/週 うち週2リモート勤務:文字を打っている画面を共有して実施
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	このままテープ起こし
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	数年前に来たときはコロナがなかった:入るときコロナで仕事の量も減った 時間も短縮(事業所の時間も) =出来高の仕事だと 給料少なくなってしまう
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	コロナで仕事減った:障害者が働きづらい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	いつでも相談可?定期相談ある?	気軽にできる 特に困っていることはない
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	2hしかないのでもそこまで困ったことない 健康診断をしてもらえるのはよかった 自己負担なし
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	事業所に関しては特にはない。他の場所では生活訓練やってるが、ここは目的がはっきりしている=PCの技術をつける目的 =利用者

○ 就労継続支援 A 型事業所

障害種別	発達障害
年齢層	20才～29才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		5年目
利用までの経緯	直近どこにいたか	特別支援から
	知った経緯	職場体験 2～3か所
	利用の決め手(どこがよかった?)	パソコンが好きだった、雰囲気よかった VRアプリ開発、プログラムづくり、動画編集
事業所の印象	就業環境	1人1人ブースで分かれていて良い
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	VRアプリ開発、プログラムづくり、動画編集
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	好き
	1日何時間ぐらい働いてる?	10～15時 病気があるのでこれぐらいでよい
	週何日勤務?	5日 ふうずにできている
	わからないことがあったときはどうする?	4人のスタッフに誰にでも気軽に聞くことができる
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事?今やりたい仕事は?	はじめから 小学生5年生～PCさわっている
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	プライベートな時間でもプログラミングとかをやるようになった 入ってからいろんな技術を身につけられた
希望	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	とりあえず今のままいきたい
	将来の夢、暮らし方	このままやっていきたい
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	満足
	増やしたいのは時間?日数?→スタッフさんに言える?	特に今のままでいい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	いつでも聞いてもらえる
	いつでも相談可?定期相談ある?	定期相談はない
	面談?日常会話?モニタリング時?	日常会話でOK、その他モニタリング時半年に一度
サポート	どんなことを助けてもらっているか	家族で引越す際の相談はしたことある
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	心に余裕をもってやらせてもらえる
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	自分は自主性が少ないので、言ってもらえると助かる
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	とくになし

障害種別	知的障害
年齢層	30才～39才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		6年目
利用までの経緯	直近どこにいたか	I市:しいたけ栽培、新聞折り、調理補助→給料安かった B型 E市の会社でも就労経験あり
	知った経緯	相談支援の人に紹介 クリーニングも紹介された:シーツ折り作業
	利用の決め手(どこがよかった?)	家から近い
事業所の印象	スタッフさん	みんなやさしい 苦手な人もいる
	就業環境	利用者7人、仲がいい
	仲間の有無	人間関係
	居心地	最初はイヤだなと思ったが、働いているうちに良くなった
現在の希望	今は合っていること、目標にしていること	今は合ってる と思ってる ここで身につけたことを 活かしてはたらきたい
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	除雪、シール貼り、トイレ掃除、大根洗い、収穫、草取り
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	体を動かす仕事が好き
	1日何時間ぐらい働いてる?	9:00-15:30
	週何日勤務?	5回/週
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	除雪など今までの仕事を続けてたい
希望	将来の夢、暮らし方	一般就労:体を動かす、シール貼り、農作業 電車に乗って
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	相談支援の人にする
	面談?日常会話?モニタリング時?	相談支援事業所のモニタリング時
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	相談できる人がいる 信頼できる人がいる 今の人がとてもいい
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	1人でかかえこむことがある ストレスがかかえるくせがあった
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	除雪とか今後も継続してやらせてほしい 今までどおりの仕事をさせてほしい

障害種別	精神障害
年齢層	30才～39才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		2年半ぐらい
利用までの経緯	直近どこにいたか	自宅でひきこもっていた
	知った経緯	高校卒業からブラブラしてた OTの資格取った25～29ぐらい OTではたらいていた→やめてしまった→ハローワーク
	利用の決め手(どこがよかった?)	説明会とかは他も見ましたが、見学したのは職員と利用者の間に笑顔がすごくあった(自然な感じ) 所長のNさんが終始笑顔だった
事業所の印象	スタッフさん	所長の人徳がある
	仲間の有無	基本的に他の方と話したりすることは少ない 利用者間で教えあったりはできている
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	PC 名刺、請求書のチェック 他の方は 市内のお菓子
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	ブラインドタッチできる
	1日何時間ぐらい働いてる?	9:45-15:00
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事?今やりたい仕事は?	元々PCに詳しく 自作できる
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	今ぐらいがちょうどいい
希望	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	OTの再就職は10社受けたが落ちてしまった(うつはダメ)
	将来の夢、暮らし方	一般就労はブランクが 既往歴がある人は取ってもらえない
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	大満足 OTのときデイに実習行ったことあったが、デイでは作業してもらえない:お給料もらえない
	増やしたいのは時間?日数?→スタッフさんに言える?	休まないで通いたい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	仕事に関することはすぐに聞いてくれる 両親の容態が安定しなくて 父の手術 は主治医の方に、プライベート
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	当然厳しいこと(出勤率悪いなど)を理由があって怒ってくれる 理不尽な怒られ方をしない、きちんと説明してくれる
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	薬の調整
	(言いつらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	睡眠剤が残ってつらいことがある 仮眠ができる環境があれば 雑談はできる

○ 就労継続支援 B 型事業所

障害種別	知的障害
年齢層	50才～59才
性別	女

▶ 利用者向け

現在通っている事業所について		回答
利用年数		27年
利用までの経緯	直近どこにいたか	自立訓練施設
	知った経緯	市役所の職員さん
	利用の決め手(どこがよかった?)	ここ以外紹介されなかった
事業所の印象	スタッフさん	職員1人
	就業環境	利用者4人
	仲間の有無	みんな仲が良い
	居心地	よい
現在の希望	今がんばっていること、目標にしていること	特になし
仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	地元のレストランでレジ、調理。(このレストランは自治体が障害者の働く場所として建てた場所)
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	好き、楽しくやれている
	1日何時間ぐらい働いてる?	9:30～15:00 (4月から夏季 9:30～16:30)
	週何日勤務?	週5～6日勤務 火曜日定休日で土日もはたらいている
	わからないことがあったときはどうする?	今はわからないことがあまりない すぐ近くに職員さんがいてくれる
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	入ったときからレストランの担当だった これからも同じでいい
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	レジが早く打てるようになってきた (経験年数:20年)
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	特にやりたいという仕事は言ったことがない:レジ打ちは職員さんからやってみないかと言われてはじめて
	将来の夢、暮らし方	ひとり暮らしを続ける
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	もう少しほしい:女性なので、服などもう少しいろいろ買いたい
	増やしたいのは時間?日数?→スタッフさんに言える?	時間:レストランは20時まで営業しているので、時間を伸ばしたい
事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	職員さん、看護師さん
	いつでも相談可?定期相談ある?	いつでも可能
サポート	どんなことを助けてもらっているか	今はほとんど助けは必要ない
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	クレームを言ってくるお客さんが来たときに職員さんが対応してくれた(いつもそばにいて見てくれている)
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	特になし
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叫びたいこと	特になし

障害種別	精神障害
年齢層	40才～49才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		まだ半年
利用までの経緯	直近どこにいたか	一流企業にいた(某有名出版社):12～3年勤務
	知った経緯	うつ アルコール依存症 合併で入院3回 デイケア→アルコール抜けなかった →うつがひどくなって2回目のデイケアのあとまた8か月半入院 体がついていけないから 一般就労は無理だということになった
事業所の印象	就業環境	結構ビリピリしてる
	仲間の有無	送迎の車内で少し話す人がいるぐらい
現在の希望	今がんばっていること、目標にしていること	与えられた仕事はしっかりやって ミスのないように
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	プラモデルの袋詰め リベット:金属の部品にワッシャーをかませる仕事
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	好きな仕事が見つかったら、優先的にやらせてもらえる
	1日何時間ぐらい働いてる?	10:00-15:30
	週何日勤務?	週3回 週2回病院
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	とにかく退院したかった。コロナで支援が進まない中、たまたま見学体験できる日があって決めた
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	あまり規模が大きいところ、単調な作業があると思うので、やっていきたい
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	担当者会議のときに言ったらやらせてもらえる
	将来の夢、暮らし方	4月で1年なので、2/6に相談員の人がA型の資料をもってきてくれる
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	工賃安いのでA型に行きたい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	まだ入って半年なのでない
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	好きな仕事を優先してやらせてもらえるところ
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	相談しづらい 常に逼迫してる状態 ビリピリしている 伝染する みんながビクビクしているように感じる

障害種別	精神障害
年齢層	18才～19才
性別	男

● 利用者向け

2 現在通っている事業所について		回答
利用年数		2年～2年半
3 利用までの経緯	直近どこにいたか	GHIに住んでいた。その前は児童養護施設にいた。高校でサッカーをやっていたがケガで行けなくなってしまった 親からの虐待があった→児相に→入所中親とLINE交換してしまい、その後お金を要求されたり夜中にも連絡が来たりしたことで、精神的に病んでしまった 児相を出たあと今の法人のアパートを借りることができ、今は親と離れた事業所の一番上の人にとても感謝している
	知った経緯	相談支援に勧められた ここだけ
4	利用の決め手(どこがよかった?)	家賃安かった、見学した、おしゃやかな部屋でよかった 16歳のひとり暮らししたときからの縁
	事業所の印象	スタッフさん 居心地
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	20日～ ポスティング作業 チラシ配り プラモデルの検品 会社の倉庫に行って施設外就労 駄菓子屋さん みかん
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	体を動かすことが好き
	1日何時間ぐらい働いてる?	10:00-15:30
	週何日勤務?	月～金 たまに土曜(10:00-14:30)
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	最初は、簡単だろうと思っていたが、やってみたらむずかしかった
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	前にラーメン屋ではたらいていた、はじめはそっちがよかった→体壊して入院→今の仕事:今はこれぐらいが良い
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	普通の仕事やってみる?という
	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	美容師になりたい:学校行かないといけない
	将来の夢、暮らし方	虐待経験などから以前はいつかやり返してやろうと思っていた→人に体験を話すことで自分自身が変わった ひとり暮らしなので、土日ヒマ 児童養護施設を自分でやりたい夢がある:自分は施設の間(施設内虐待)などがあつた→なくしたいから自分でつくりたい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	事業所の一番上の人:親のような存在 +スタッフさん誰でも相談できる
	いつでも相談可?定期相談ある?	いつでも大丈夫
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	お金の使い方を管理してもらえる:1日の使用額、課金をやめようなど
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	お金の使い方
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	もう少し厳しくしてもらってもいい 甘えちゃうので

障害種別	高次脳機能障害
年齢層	65才以上
性別	女

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		6-7年
利用までの経緯	直近どこにいたか	同法人の生活介護事業所で4年仕事していた
	知った経緯	くも膜下出血で倒れた56歳→努めてた会社をやめて生活介護事業所へ→今のところへ紹介
事業所の印象	就業環境	仕事しやすい 自分のペースで仕事できる
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	ネット通販食品の袋詰め
	1日何時間ぐらい働いてる？	10-15時 4h
	週何日勤務？	月～金
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事？ 今やりたい仕事は？	もう年なので与えられた仕事をするだけ
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	いつでも相談可？定期相談ある？	いつでも大丈夫
	いつでも相談可？定期相談ある？	いつでも大丈夫
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	自分のペースで仕事をさせてもらえること
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	特になし

障害種別	発達障害
年齢層	40才～49才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		10年
利用までの経緯	知った経緯	市の就労支援センターで
	利用の決め手(どこがよかった?)	当時は仕事を辞めていた時期。コピー機などが動いていたけれど比較的静かな職場だったから
事業所の印象	就業環境	自分に合っている
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	そのときの仕事の締め切りによるが、色々変わる PC入力、発送前準備 封筒に入れる前に書類作成
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	好き 単純な作業が得意
	1日何時間ぐらい働いてる？	13:00～16:00
	週何日勤務？	3回/週
	わからないことがあったときはどうする？	入力をしていて、読めないのがあったりしたら聞く
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる？ →それをスタッフさんに言える？	体調に合わせて作業を変えてもらえる
	将来の夢、暮らし方	本を読みたい 噛み合わせが悪く肩がいつも緊張するので治したい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	すぐに相談できる環境がある
	いつでも相談可？定期相談ある？	月1度は面談あるが、それ以外にも
	面談？日常会話？モニタリング時？	生活記録表をつけている→それを見せて立ち話
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	自分のためにいつも時間を使ってもらっている マイナスなことを言われない あえて抑えてもらえていると思う
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	今のままで 最近足がかゆかったり、口内炎
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	特になし

障害種別	精神障害
年齢層	60才～64才
性別	女

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		3年
利用までの経緯	直近どこにいたか	同法人のB型事業所
	知った経緯	B型事業所の仕事が合わなかった
事業所の印象	スタッフさん	やさしい
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	キッチン 袋入れ
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	楽しい
	1日何時間ぐらい働いてる?	9:30～15:30
	週何日勤務?	週5日
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	スポンジ型抜き、検査
	今後やってみたい仕事、身につけたいと 思っていること	10本まとめて梱包できるようになりたい(今の作業より難しい作業)
	将来の夢、暮らし方	編み物をしてみたい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいる か/誰にするか	スタッフさん、通院先の医師
	面談?日常会話?モニタリング時?	仕事のこと以外にも家族のことなど相談できる ひとり暮らしで困ったことなど
サポート	どんなことを助けてもらっているか	テープの貼り方うまくいかないとき、わかりやすく教えてもらえる
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれ しかったこと	仕事を覚えるまで大変だった 横についてもらって教えてくれた
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかな か叶わないこと	特にない

【調査結果(事業所)】

○ 就労移行支援事業所

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労移行支援
障害種別	精神障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	定員20名18名登録。常時15人程度通所。
	平均的な利用時間	移行ではめずらしいかもしれないが、10~15時までフルで通所されている方が半数以上いる。
	全体的な支援方針、法人の特徴	週1回1hからでもOKとしているが、居心地のいい、やさしい空間になっているのか、フルで通われる方が多い。 事業所内で孤独にならないということが大事と考え、1人1人に細かい声掛けを行うようにしている。 1人1人に合わせた個別支援計画を立てている
	特徴的な取り組み	スタッフ同士でオンラインチャットでリアルタイムに情報共有できるようになっている。スタッフ6名/日が各ブースで支援しながらPCでリアルタイムに情報共有できる。 元々大阪で始まった法人で、大阪に7事業所、鶴見、関内、名古屋に事業所がある。社内に研修チームがあり、新人ときから支援に関する研修なども充実している
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	まずご希望を聞いて、いっしょに動く、やってみようと言う。 できなかったときに、また一緒に考える。失敗をすることでご自身の現在地を把握することができる。移行支援は就職するための予備校という表現をしている。失敗をいくらでもできるところが移行支援(の良さ)であると考えている。
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	ご希望にできる限り近い内容を提案させてもらい、希望と提案をすり合わせていく作業を行っている
4	その他	回答
	その他	・回答支援者:6名を1人で担当+定着支援利用者1名 ・定着支援の状況...気分の波が激しく人のことが気になる、不安が怒りとして出てしまう方、瞬間湯沸かし器、ご自身のセルフケアなどを学んでもらって就職してもらった(頭に血が上ったときにお気に入りの髪アクセサリをさわるなど。)どうしてもむずかしいときはチャットや電話、来所してもらおうようにしている。 ・事業所として最も大事にしていること...居場所としての機能。ここに来たときぐらい笑おうよ、といえるような場に。 ・利用者アンケートについて...それほどむずかしい設問もなく、多すぎる感じもしなかった。

法人格	社会福祉法人
事業種別	就労移行支援
障害種別	知的障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	定員6名/6名 事業所=移行+B 法人では放デイ、GHもある 週5勤務が多い
	平均的な利用時間	9-15時 5h
	全体的な支援方針、法人の特徴	農業に関する仕事を探す 基礎体力をつけるなど、体力的に万全にして支援→指示に対する動きなど特性、足りないところなどを見る
	特徴的な取り組み	外勤などはBといっしょに行くこともある 就労移行で農業はめずらしい Bと移行でハウスごとに利用者の合う仕事を提供
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	農業がいいが、自分で通うなどできないとむずかしく、安定した仕事というのが少ない →うちで体力をつけてもらい、色々なところで就職できるように
	卒業後の進路	清掃、水産加工 介護、福祉:清掃、介護補助
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	こちらが無理だなどと思っても、実習先などを見つけてやってもらおう スタッフから言われるよりも企業などから言われた方がいい場合も多い。しっかりダメなところを言ってもらおうようにしている(できれば少し厳し目にとお願いしておくこともある) 企業側も言いつらいということはあると思うが、言ってもらった方が本人のためになるというので言ってもらおうようにしている →利用者さんと一緒に振り返って納得感を得てもらう
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	うちは基本的に農業なので、PCの仕事をやってみたいとかはある →事業所はここだけでない提案することもある(できれば叶えてあげたいと思っているが) 基本的には相談支援事業所に伝えて、探してもらったりする
4 その他		回答
	その他	田んぼの中にある事業所なので環境が良いのだと思う。入ってくる方はほぼ農業希望 体動かしたい方が多く来る(障害程度は軽め) 紹介は支援学校や相談事業所から 10~20代が多い あまり途中で退所などはない(ほぼ2年で就職等する)

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労移行支援
障害種別	発達障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	20名 移行+定着 登録18名 精神・発達
	平均的な利用時間	9-16時、その他特性に合わせて 在宅の人もいた(国の指針)
	全体的な支援方針、法人の特徴	施設外就労=実践訓練をメインに 座学は少なくし、ここでも工賃2~3万はかせげるように仕事を提供 回答支援者:ジョブコーチ 実践訓練の中で得られる利用者の特性や情報を就労先に伝える
	一般就労に向けた支援	一番多いのは就労支援機関からの情報提供 引き合い:企業等からの直電、卒業生の企業、福岡の工場からも
	卒業後の進路	愛知:自動車メーカー、製造業 製造系が8割 +事務
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	一番早いのは、実習に行ってみてもらう→相手の会社の評価を可視化したまに職業センター使う プロフィールシートは送る 本人との信頼関係が必要
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	周辺情報 実践訓練を希望されない人にはちがうところへという話はする また準備性が整ってない方、安定していない方などは移行でいいのかとなるが、Bに追いやるのではなく1週間ぐらいアセスメントをとってから判断する・Bと移行の使い分け 外部機関:医者、ナカボツなどと連携することもある 自社の相談支援事業所と連携:よく動いてくれる
4 その他		回答
	その他	相談支援事業所が多忙でいっぱいいっぱい:この報酬体系ではむずかしいとのこと →お願いしづらい。 定着支援:向こう3年の実績で出すので 増えていかない 表面上だけ見ていると普通だが障害のある大学生の利用相談が多くなっている 大学の方も就職支援に困っている→支援者さえいれば良い会社に就職できる うちはそういう人を雇ってもいいと言っている企業を多く知っているため、某大学と連携して進めていこうということになった

法人格	社会福祉法人
事業種別	就労移行支援
障害種別	身体障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	移行30 B30 移行70 B40 視覚障害 特化 白杖訓練等が多いが、高度な音声PCを用いた事業所は 他県からも
	全体的な支援方針、法人の特徴	視覚障害+就労で40年以上前から 健常者と同等に仕事できるように 1人1人の状況に合わせて対応:同じ視覚障害でも人により視野も見え方もちがう 年齢も幅広い:アセスメントをしっかりと実施している 移行:コース4つ・音声PC導入している 利用契約書類は口頭読み上げ、電子データ、媒体でも準備している
	特徴的な取り組み	リモート:福岡、仙台、神奈川、埼玉、千葉 コロナ:緊急事態宣言出てから 運営規程も変えて
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	見えないことで不利益ないように 全盲の職員も7名いる
	卒業後の進路	一般就労(職種:事務)が多い
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	すり合わせ:アセスメント時 進路、モチベーションの差はある:3か月モニタリング:再評価+フィードバック 評価シートある:標準の進み具合の指標 検定試験なども活用:顕著に出る 本人も自覚できる これまで経験がある人→正社員、月給、一流じゃないという方→本人の気持ちを大事に したいということを最大限尊重 本人に寄り添う
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	視覚障害に対応している機関は多くないので顔が見える まだ身の回りのことできない人→自立訓練 Bでも知的に高い人→他のBを紹介したり 終了までに次の進路を 相談支援:所在自治体によって温度差ある モニタリングが電話だけのところもある 相談支援が就職先見つけてきてくれる場合もある
4 その他		回答
	その他	視覚障害者は数が少ないので、相談支援、ナカポツでもわからないことが多い

○ 就労継続支援 A 型事業所

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労継続A型
障害種別	発達障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	20名/19名 週5くる 精神障害、発達障害が主
	平均的な利用時間	4～5h/日
	全体的な支援方針、法人の特徴	利用者さんが実施可能なことしかさせない。 利用者さんができないことは(事業所側が)環境で埋められるという考え 既存の仕事はほとんどない→新しい仕事ばかり 請負もあるが、マネタイズしやすいため自社で研究・開発が主力:コンテンツ事業が主
	特徴的な取り組み	IT事業に特化 例)メガネメーカーの集中力を測るメガネ:コラボしてYouTubeであげている 利用者のうち6名ぐらいがリモート勤務
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	前年度3名一般就労 対応し得る技能:遠い目標はたてないようにする 働き方が多様化している
	卒業後の進路	商社、不動産など
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	自己分析+体験してもらう→お互いの情報量が少ないときギャップは起こる 一緒にSWOT分析などもする。一緒に情報を集めて本人と共有 会社全体で利益が出ればよい(1つ1つの事業・取り組みすべてが黒字じゃなくて良い) 自律した問題解決ができるようになってもらいたい
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	できる限りカスタマイズして提供し続けるようにしている (自分のところだけじゃなく)就労事業所全体でカバーできればよいと思っている
4 その他		回答
	その他	1人1人にコストがかかるので14～15名でやってきた 相談体制としてはそれほど充実しているわけではないと思ってきた 利用者さん同士で教えあったりしている メタバースも取り組んでいる:自然言語モデル→プロンプトエンジニアリングができるように

法人格	NPO法人
事業種別	就労継続A型
障害種別	知的障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	15名 登録7名 週5日
	平均的な利用時間	4名:AMのみ 3名:9-15:30
	全体的な支援方針、法人の特徴	農福連携 加工製造、直売所での販売 作業を切り出して 仕事というチャンネルが居場所である 適正にあった場所に配置できる
	一般就労に向けた支援	事業所としては積極的に一般就労を探しているわけではない:本人が見つめてきたりすれば、ハローワーク同行や履歴書書き、面接練習などもしている 卒業者はだいたい一般就労にむずびついてはいる
	卒業後の進路	精神:刑務所の事務
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	ギャップを明らかにしていく まずはやってみさせてフィードバック 相談支援と協議 日中活動の事業所が踏み込める領域がどこまでかということは考える
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	合わなければ自然と離れていくもの 人に合わせて工程を組み替えることもある、一連の流れだったものを切り分けることもある

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労継続A型
障害種別	精神障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
	基礎情報	
	定員、登録者数、利用者/日	20名/30名 毎日 精神8割 知的・身体
	平均的な利用時間	4h15m
	全体的な支援方針、法人の特徴	Aなので、一般就労に向けて 出勤率8割をキープできるようにという意識 :利用者にも意識してもらおう ずっといてもいいけど、その先を
	特徴的な取り組み	居心地いいと言ってもらうのはいいが、一般就労に向かってほしい
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	ハローワークにもそういう求人出してる ハローワークに行く手前の話はする
	卒業後の進路	今年3名ぐらい
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	相談支援、ハローワークがついていれば連絡を取って、方向性の確認+ 第三者に入ってもらおう 出勤率が低い人:紙に打ち出して見てもらって(厳しいけど、現実を受け止めてもらう)
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	ほとんどの方がPCやりたくてきてる 向いてない方、座り仕事がつらそうな方 →無理にここにいつづける必要はない
4	その他	回答
	その他	箱詰めを単発 ハローワークとの連携多い:担当者が熱心:面談時間を取ってくれる 障害者就労 函館:就労Aが結構つぶれている。AをやめてBにするとところもある

○ 就労継続支援 B 型事業所

法人格	社会福祉法人
事業種別	就労継続B型
障害種別	知的障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	H7～入所→訪問寮でひとり暮らし 自活訓練 3年→村営住宅 GHの世話人の確保がむずかしい B12 生活介護30 11名B 30 12名毎日365日 交代制 2万～ 3.5万以上
	平均的な利用時間	4h(冬)～6h(夏)
	全体的な支援方針、法人の特徴	その人の生活の保障 生活を守る 障害特性にあわせて 工夫をしている 月給制:A～C:働く場所、能力により差→年2回評価表で点数化してランク決め
	特徴的な取り組み	宿泊施設でのベッドメイク業務 元理事長が民間あがり、工賃高くする目標
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	地域にほとんど仕事がない:自分たちで職場をつくらうという考えで仕事を増やしてきた
	卒業後の進路	近隣自治体の役場庁舎の清掃(過去1人だけ1本釣りだった)
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	本人とよく話す、家族交えて話す:本人の意向が大事 相談支援事業所にも入ってもらうこともある
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	少ないが、希望が変わっていく人もいる(途中で飽きてきてちがう仕事したいなど)。まれなケースだが他市の事業所に移る方もいた
4 その他		回答
	その他	近隣自治体の相談支援(元は同一法人だった事業所)を8割方の人が利用している

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労継続B型
障害種別	精神障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	20名/28名 毎日20名 午前午後で分けて 精神がほとんど 知的4名 法人内の他B型があり、そちらは知的メイン
	平均的な利用時間	2～3h:AMの人 1日通しの人もいる 9-15:30
	全体的な支援方針、法人の特徴	利用者に合わせて 終了時間だけ合わせて、開始は人それぞれ 利用者に寄りそう 法人:事業所多い(GH、相談支援持ってる)、生活介護も今後開設したい
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	今のところ 1名ぐらいしか定着していない いったとしても戻ってきてしまったりする人多い 大体はうちにずっといる 他に行き所がなくてうちに来る人が多い
	2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	
	対応方法	ギャップある人多い 利用者さん同士でも比較しあってしまうことも多い →まずはやってみてもらう→失敗しても 本人が納得することが大事 施設外就労に連れていく:連れていけるタイミングで行って体験してもらって挫折して帰ってきたらフィードバックして また行けるといいね、と声掛け
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	持っているプログラムが多い(みかん収穫 便利屋 広告出して 個人宅の草刈り など) 法人内に営業担当いる:営業したい利用者さん(以前営業職だった人など) 法人で持っている仕事の幅が広い どこの事業所でもダメだった人がくることも

法人格	社会福祉法人
事業種別	就労継続B型
障害種別	高次脳機能障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	定員20名 登録26名 ほほみんな20 知的・発達、高次脳4名
	平均的な利用時間	10-12 13-15
	全体的な支援方針、法人の特徴	理念:はたらくを支援 個々に合った作業
	特徴的な取り組み	シール貼り、袋詰め 室外:施設外就労 清掃 共同受注を行っている法人が仕事をあっせんしてくれる
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	やってみてむずかしいときは、その人のできることをしてもらい、自信につながるように支援
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	ほとんどない 利用が長い方が多い 最長10年いる人も 年齢層:20代~70歳代
4	その他	回答
	その他	相談支援のモニタリングでの聞き取り(3か月に一度):こちらでは聞けない情報を聞き取ってもらう(事前に打合せすることもある)

法人格	NPO法人
事業種別	就労継続B型
障害種別	発達障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	40名 主従 49名 2~3名卒業予定 年間4~5名
	平均的な利用時間	MAX 9:30~17:00 フルタイム4割 半日週3 午前午後1回ずつ報告
	全体的な支援方針、法人の特徴	発達障害に特化:2006~ 就労Bなかった 大学を出た発達障害の人が生きにくい:就職ない→PCやったら 地域作業所→地活→就労B 体使う仕事:シュレッダー、納品手伝い、ピッキング PC1人1台:データ入力、印刷機:発送業務、帳合い、封筒、アンケート入力
	特徴的な取り組み	発達障害に特化:1人1つの仕事ならできる人:横の関わり一切なし:仕事の明確化: 個別で社会性の支援(できる人にはしない、必要な人に必要なことのみ) 相談=検品のタイミングで実施 平均工賃45000円 時給550円が一番多い ボーナス月 ADHD:集中できる時間を申告してもらっている
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	目標
	卒業後の進路	市(PC入力、発送)、都道府県(PCセットアップ、企業の社員に配る、クリーニング) 特例子会社(事務系)にOBいる そこに7人ずついる ナカボツ、市の就労支援課 が紹介してくれる→まずはスタッフが行って、相手方を見て判断(持ち出しでやってる)→実習(面接は敷居が高い)してから
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	Bに来る人は就労したい人→はじめは就労したいという言葉はまだ本心じゃない=誤学習 だと思っている (周りから言われるから「就労したい」という人が多い) まずは個別支援計画もそれに合わせるが、日々の仕事を見ていった中で出てきた課題→フィードバックして 本人が納得するように 就労ということから一歩引いて考えてもらう 担当者制→情報共有の工夫:日報(PC)を共有フォルダで共有、毎日スタッフミーティング 月1回自法人のB型(就労の一段階踏みたい人用)と1日ずつ 書面+議題つくって意見交換会
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	結構外に出ていく機会が多い 医療同行もする 計画相談といっしょに 日中は当事業所、生活は他事業所みたいに役割分担
4	その他	回答
	その他	自法人GH 立ち上げスタッフが重度のGH支援員だった 昔のGHの委員会 NPO法人つくって進めた 高機能の人が困っているのを見て当事業所を設立 体験型のGHをつくった→はたらいで年金+6万ぐらいを目標 生の仕事で自己実現」がスローガン:現実の社会との接点により自己実現を体感してもらう→どんな自分というものが良いのか、本人が感じられるように 教材ではなくて実際の受注でつくる→ここにいる自分がいい、就職する自分がいいなど、どれでも良い

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労継続B型
障害種別	精神障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
基礎情報 一般就労に向けた支援	定員、登録者数、利用者/日	20名 19名 ほぼ全員 精神・知的・身体
	全体的な支援方針、法人の特徴	本人に寄り添って 望む 自立に向けた 人生トータル
	特徴的な取り組み	それぞれに合ったやり方、生き方
	卒業後の進路	支援員に自社雇用したケースがある 一般就労もある
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	プライドを気づけないように 現実を感じてもらう 実際やってもらう : 体験してもらう
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	なるべく(自社で)つくる 相談支援との連携を意識 その人の将来を考えてやっている
4	その他	回答
	提供している作業	PCの仕事 スポンジ 梱包 自動車メーカーのウレタン部品の加工

● ヒアリング調査まとめ

【特徴的な取り組み・印象に残った発言等】

○ 就労移行支援

発言者	障害種別	概要
利用者 A	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>1日1時間からでもよい</u>というところに惹かれた。 ・ <u>1人に1人の担当スタッフ+キャリアコンサルタント</u>の人にもサポートしてもらえた。 ・ 合同面接会への参加や、面接技法、身だしなみ、履歴書の中身チェックなど、様々なサポートあり。面接練習は、就職活動が進むタイミングに合わせてスタッフさんと相談しながら随時実施
利用者 B	知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ やってみたいこともあるが今の仕事をがんばりたい ・ 他の仕事も見てみたいと言ってみたことがある→見学させてもらったこともある ・ ひとり暮らししたい:現在実家→独立して暮らしたい
利用者 C	身体障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害があってもみんな楽しくやっているんだとわかった ・ 見えないことを見えるふりしなくてよいという気持ちになった ・ はたらくことで(自分自身の)足元がしっかりする ・ 親身になって心配してくれるが、自分としてはもう一歩がんばるところだと思っけていても、そこで<u>無理はしなくてもいいと言われてしまう</u>
利用者 D	身体障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援は所在自治体によって温度差ある ・ モニタリングが電話だけのところもある ・ 相談支援が就職先見つけてきてくれる場合もある
支援者 A		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>事業所内で孤独にならないということが大事</u>と考え、1人1人に細かい声掛けを行うようにしている。 ・ 1人1人に合わせた個別支援計画を立てている ・ (ギャップがあるときは)まずご希望を聞いて、いっしょに動く、やってみようと言う。できなかったときに、また一緒に考える。 ・ 失敗をすることでご自身の現在地を把握することができる。 ・ <u>失敗をいくらでもできるところが移行支援(の良さ)</u>と考えている
支援者 B		<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労移行で農業はめずらしい→B と移行でハウスごとに利用者の合う仕事を提供している ・ 卒後の進路:清掃、水産加工、介護、福祉:清掃、介護補助→農業がいいが、自分で通うなどできないとむずかしく、安定した仕事というのが少ないため、<u>うちで体力をつけ、色々なところに就職できるように支援している</u>
支援者 C		<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設外就労=<u>実践訓練を重視</u>している ・ 座学は少なくし、ここでも工賃 2~3 万はかせげようように仕事を提供する ・ 実践訓練の中で得られる利用者の特性や情報を就労先に伝える ・ まだ準備性が整ってない方、安定していない方などは移行でいいのかとなるが、<u>すぐに B 型にということではなく1週間ぐらいアセスメントをとってから判断する</u>(B 型と移行の使い分け) ・ <u>相談支援事業所が多忙でいっぱいいっぱい</u>:この報酬体系ではむずかしいとのこと(お願いしづらい。)
支援者 D		<ul style="list-style-type: none"> ・ 健常者と同等に仕事ができるように支援している ・ <u>1人1人の状況に合わせて対応</u>:同じ障害でも人によりちがう。年齢層も幅広いため<u>アセスメントをしっかり実施</u>している ・ コースは4種類で、音声読み上げ PC 等を導入している ・ (一般就労しても)障害があることで不利益でないように訓練 ・ 就労経験がある人で正社員、月給、一流じゃないという方→<u>本人の気持ちを大事に、したいということを最大限尊重し本人に寄り添う</u>

○ 就労継続支援 A 型

発言者	障害種別	概要
利用者 A	発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 半年に一度のモニタリング以外の定期相談はない(随時相談している) ・ 心に余裕をもってやらせてもらえる ・ 自分は自主性が少ないので、言ってもらえると助かる
利用者 B	知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初はイヤだなと思ったが、働いているうちに良くなった ・ ストレスかかえるくせがあつたが相談できる人がいる・信頼できる人がいる(今の人がとてもいい) ・ 相談ごとには相談支援の人にする(モニタリング時)
利用者 C	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般就労はブランクがあつたり既往歴がある人は取ってもらえない ・ 厳しいこと(出勤率悪いなど)を理由をもって怒ってくれる ・ 理不尽な怒られ方をしない、きちんと説明してくれる
利用者 D	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業に面接など活動はしていたが、見学したとき作業の体験させてもらって合うと思った。職場の雰囲気がよかつた ・ ストレスがない。気軽に話しかけられる ・ わからないことをすぐに来てくれる的確に指示をくれる ・ 他の利用者との関わりが少ない。あいさつ程度しかないので、世間話でもできればと思っている。事業所の方針があるのはわかるが、本当はそういう気持ちがある(理解はしている)
支援者 A		<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般就労に向けて出勤率 8 割をキープできるように:利用者にも意識してもらおうにしている ・ 相談支援、ハローワークがついていけば連絡を取って、方向性の確認+第三者に入ってもらう ・ 出勤率が低い人:紙に打ち出して本人にも見てもらおう(厳しいが、現実を受け止めてもらう) ・ PC作業が主なので、向いてない方、座り仕事がつらそうな方は無理にここに居続ける必要はないと考えている ・ ハローワークとの連携多い:担当者が熱心:面談時間を取ってくれる
支援者 B		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者さんが実施可能なことしかさせない。利用者さんができないことは(事業所側が)環境で埋められるという考えている ・ (ギャップがあるときは)自己分析+体験してもらおう→お互いの情報量が少ないときギャップは起こる。一緒に SWOT 分析などもする ・ 会社全体で利益が出ればよい(1つ1つの事業・取り組みすべてが黒字じゃなくて良い)
支援者 C		<ul style="list-style-type: none"> ・ 親亡き後の支援をどうするか ・ 積極的に一般就労を探しているわけではない:本人が見つけてきたりすれば、ハローワーク同行や履歴書書き、面接練習などはしている ・ ギャップを明らかにしていく。まずはやってみさせてフィードバック ・ 日中活動の事業所が踏み込める領域がどこまでかということはある

○ 就労継続支援 B 型

発言者	障害種別	概要
利用者 A	知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にやりたいという仕事は言ったことがない:レジ打ちは職員さんからやってみないかと言われてはじめて ・ クレームを言うお客さんが来たときに職員さんが対応してくれた(いつもそばにいて見てくれている)
利用者 B	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前にラーメン屋ではたらいていた、はじめはそちらがよかった→体を壊して入院→今の仕事へ。今はこれぐらいが良い ・ 虐待経験などから以前はいつかやり返してやろうと思っていた→人に体験を話すことで自分自身が変わった ・ 児童養護施設を自分でやりたい夢がある:自分は施設の闇(施設内虐待)などがあつた→なくしたいから自分で施設をつくりたい ・ お金の使い方を管理してもらえる:1日の使用額、課金をやめようなど
利用者 C	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ (やりたい仕事)担当者会議のときに言ったらやらせてもらえる ・ 一流企業にいた。工賃が安いので A 型に行きたい ・ まだ入って半年なので相談する人はいない ・ 相談しづらい。常に逼迫してる状態でピリピリしている
支援者 A		<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ信頼関係の構築途中の方に対しては、距離感を近からず遠からずにしていく ・ 就業時間は利用者ごとにちがう:終了時間だけ合わせて、開始はそれぞれにしていく ・ ギャップある人は多い。まずはやってみてもらう→失敗しても本人が納得することが大事 ・ 施設外就労に連れていけるタイミングで行って体験してもらう→挫折して帰ってきたらフィードバックしまた行けるといいね、と声掛けする ・ 法人内に営業担当がいるため法人で持っている仕事の幅が広い ・ どの事業所でもダメだった人がくることも多い
支援者 B		<ul style="list-style-type: none"> ・ (ギャップがあるときは)やってみてむずかしいときは、その人のできることをしてもらい、自信につながるように支援 ・ 相談支援のモニタリングでの聞き取り(3か月に一度)に、こちらでは聞けない情報を聞き取ってもらう(事前に打合せすることもある)
支援者 C		<ul style="list-style-type: none"> ・ ご本人が今の働き方が最も合っていると話しており、事業所としてはこういう形がまさに理想だと思っている ・ 自分がやりたい姿になることが目標になったらいい:就労できない自分に落ち込まなくていい:一般就労がゴールとは思っていない ・ 発達障害に特化:地域作業所→地活→就労 B 型へ変遷 ・ 平均工賃45000円:時給550円が一番多い:ボーナス有 ・ ADHD の方には自分が集中できる時間を申告してもらっている ・ はじめは就労したいという言葉はまだ本心じゃない=誤学習 だと思っている(周りから言われるから「就労したい」という人が多い) ・ まずは個別支援計画もそれに合わせるが、日々の仕事を見ていった中で出てきた課題→フィードバックして 本人が納得するように ・ 就労ということから一歩引いて考えてもらう ・ 結構外に出ていく機会が多い 医療同行もする 計画相談といっしょに ・ 「生の仕事で自己実現」がスローガン:現実の社会との接点により自己実現を体感してもらう→どんな自分というものが良いのか、本人が感じられるように
支援者 D		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入った当初はおとなしかった方→ニコニコしてただけ 発語も少なかった→いつの間にかとてもよく話すようになった ・ その人の生活を守る:地域にほとんど仕事がない:自分たちで職場をつくらうという考えで仕事を増やしてきた→障害特性にあわせた工夫 ・ 月給制:A~C ランク:働く場所、能力により差→年2回評価表で点数化してランク決め

○ ヒアリング調査総括

- 事業種別で特に差があるということはなく、特に「本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応」については、
 - ・ まず希望を聞き、いっしょに動く
 - ・ ギャップを明らかにしていく。まずはやってみさせてフィードバックをする
 - ・ できなかったときは、その人ができる範囲のことをしてもらい、自信につながるように支援する
 - ・ たとえ失敗したとしても、その結果や過程に本人が「納得」することが大事
といった、本人の希望や自己決定のプロセスを尊重・重視した支援を、どの事業所も行っていることがわかった。
- 一方で、就労という日中活動の事業所が踏み込める(関わるべき)領域がどこまでかということに悩む声もあった。
- その点、うまく相談支援事業所やハローワーク、施設外就労先の企業などと連携し、第三者の力を借りて利用者の認識の修正やギャップの解消を図るなど、多機関協働を意識して行っているところが多いという印象があった。

4 分析・考察

ここまで、各種アンケート調査並びにヒアリング調査を実施してきた。主要な結果を改めて分析し、それらから見えてきたことを考察する。

4.1 利用者の実態

本研究事業では、就労系障害福祉サービスの利用者に関して、利用者本人が就労系障害福祉サービス事業所に通うことで実現したいこと：「ウォンツ」に重きを置き、その「ウォンツ」に対しどのような支援が行われており、それにより利用者の事業所に対する「満足度」がどう変化するのかという点に着目して、調査・分析を進めてきた。

ここからは、さらに深く分析・考察を進めるにあたり、まずは現在の事業所を選択した経緯から整理する。

- 現在の事業所への利用経緯

<p.46 再掲>

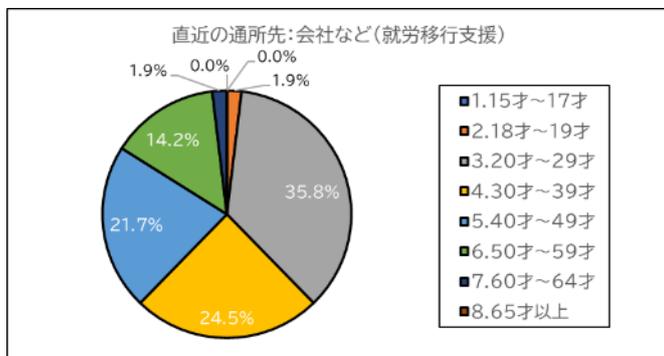
Q7. 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？ (選択は1つ)

Q7. 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？(選択は1つ)

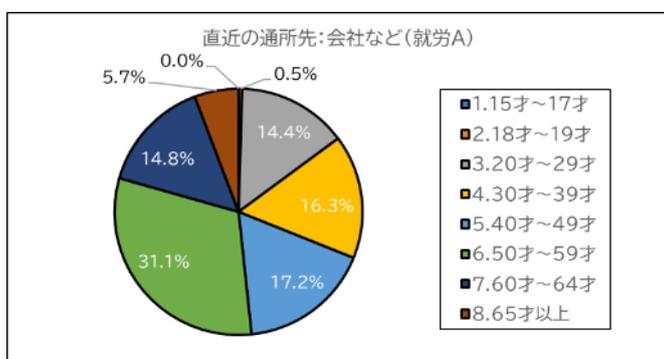
回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.中学校	19	1.0%	1	0.2%	6	0.9%	12	1.6%
2.特別支援学校	226	12.1%	75	17.2%	54	7.8%	97	13.1%
3.普通高校	44	2.4%	15	3.4%	13	1.9%	16	2.2%
4.専門学校	23	1.2%	15	3.4%	5	0.7%	3	0.4%
5.短期大学	4	0.2%	2	0.5%	1	0.1%	1	0.1%
6.大学	29	1.6%	20	4.6%	4	0.6%	5	0.7%
7.大学院	4	0.2%	2	0.5%	2	0.3%	0	0.0%
8.就労継続支援A型事業所	151	8.1%	16	3.7%	106	15.3%	29	3.9%
9.就労継続支援B型事業所	227	12.2%	21	4.8%	62	8.9%	144	19.5%
10.就労移行支援事業所	89	4.8%	20	4.6%	30	4.3%	39	5.3%
11.生活介護事業所	16	0.9%	1	0.2%	2	0.3%	13	1.8%
12.自立訓練事業所	37	2.0%	10	2.3%	13	1.9%	14	1.9%
13.地域活動支援センター	37	2.0%	11	2.5%	8	1.2%	18	2.4%
14.医療機関(デイケア)	43	2.3%	8	1.8%	9	1.3%	26	3.5%
15.会社など(就職)	458	24.5%	117	26.9%	221	31.9%	120	16.2%
16.病院に入院	72	3.9%	11	2.5%	22	3.2%	39	5.3%
17.自分の家	282	15.1%	65	14.9%	94	13.6%	123	16.6%
18.わからない	25	1.3%	8	1.8%	8	1.2%	9	1.2%
19.その他※くわしく書いてください。	82	4.4%	17	3.9%	33	4.8%	32	4.3%
計	1,868	100.0%	435	100.0%	693	100.0%	740	100.0%

- 就労移行支援と就労継続支援 A 型で「会社など(就職)」が3割前後と多く、全体でも 24.5%で最も多い。就労継続支援 A 型・B型では他のA型・B型から移動してきたという回答も比較的多い。
- 次いで自宅という答えが多いが、就労移行支援と就労継続支援 B 型では「特別支援学校」が15%前後あった。

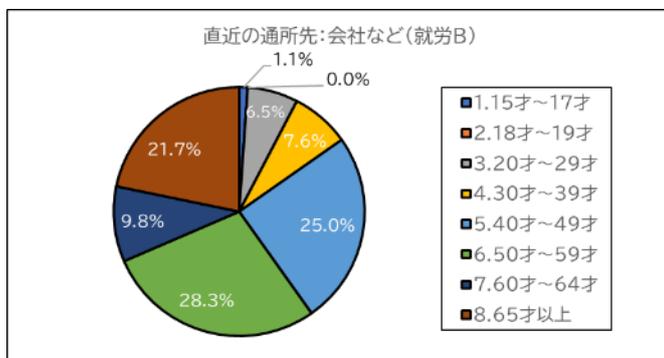
最も多い回答のあった、会社などの就職から障害福祉サービス事業所への移動について、事業種別ごとに年齢層でクロス分析を行った。



項目	件数	割合
1.15才~17才	0	0.0%
2.18才~19才	2	1.9%
3.20才~29才	38	35.8%
4.30才~39才	26	24.5%
5.40才~49才	23	21.7%
6.50才~59才	15	14.2%
7.60才~64才	2	1.9%
8.65才以上	0	0.0%
計	106	100.0%



項目	件数	割合
1.15才~17才	0	0.0%
2.18才~19才	1	0.5%
3.20才~29才	30	14.4%
4.30才~39才	34	16.3%
5.40才~49才	36	17.2%
6.50才~59才	65	31.1%
7.60才~64才	31	14.8%
8.65才以上	12	5.7%
計	209	100.0%



項目	件数	割合
1.15才~17才	1	1.1%
2.18才~19才	0	0.0%
3.20才~29才	6	6.5%
4.30才~39才	7	7.6%
5.40才~49才	23	25.0%
6.50才~59才	26	28.3%
7.60才~64才	9	9.8%
8.65才以上	20	21.7%
計	92	100.0%

- 就労移行支援では20才~59才までに9割以上が集中しているが、20~29才という就職10年以内と思われる回答が38名(35.8%)と最も多かった。
- 就労継続支援A型では、50才~59才が31.1%で最も多く、20~59才に78.9%の回答が集まった。
- 就労継続支援B型では、40~59才に53.3%、そのほかは65才以上が21.7%と多かった。
- 3事業とも、一般的には働き盛りと言われる年代からの回答が多く、障害があることで何らかの理由によりやむを得ず会社等を退職し、障害福祉サービス事業所へと移動してきたという可能性が伺える。

<p.49 再掲>

Q9. 今かよっている事業所ではたらかたいと思ったのはどんな理由ですか？(選択はいくつでも)

- 全体では「1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから」が34.7%、全事業所でも最も多かった
- 就労移行では「4.はたらくための技術が身につくそうだったから」が23.6%で2位になっており、1.と2.で半数以上の割合を占めている
- 就労A・Bでは「2.自分のやりたい仕事ができると思ったから」が2位で15%前後だった

Q9. 今かよっている事業所ではたらかたいと思ったのはどんな理由ですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから	1071	34.7%	235	31.9%	409	35.6%	427	35.6%
2.自分のやりたい仕事ができると思ったから	447	14.5%	93	12.6%	174	15.2%	180	15.0%
3.たくさんお金(工賃・賃金)をもらえそうだったから	267	8.7%	35	4.8%	125	10.9%	107	8.9%
4.はたらくための技術が身につくそうだったから	406	13.2%	174	23.6%	132	11.5%	100	8.3%
5.周りの人にすすめられたから	324	10.5%	96	13.0%	88	7.7%	140	11.7%
6.ほかにはたらくところがなかったから	308	10.0%	36	4.9%	137	11.9%	135	11.2%
7.その他	190	6.2%	46	6.3%	70	6.1%	74	6.2%
8.わからない	72	2.3%	21	2.9%	13	1.1%	38	3.2%
計	3,085	100.0%	736	100.0%	1,148	100.0%	1,201	100.0%

- ヒアリング等でも、まず何か所か見学・実習を行い、事業所の雰囲気を見たり、やっている仕事を見たりして自分に合っているかを見てから利用を決めたというケースが多かった。
- 「ここではたらかたい」という積極的なベクトルとは別に、仕事の「やっていけそうか」ということも判断基準の一つになっているとの声もあった。